

平成18年度

福岡市美術館活動の記録

Fukuoka Art Museum Annual Report

平成18年度

福岡市美術館活動の記録

Fukuoka Art Museum Annual Report 2006

凡例	04
美術館日誌	05
展示活動	
特別企画展等	06
常設展	11
常設企画展	14
展覧会関連記事	16
教育普及活動	
こどもアートアドベンチャー	20
夏休みこども美術館	21
講座	22
開館記念事業	22
博物館実習	22
職場体験学習	23
読書室企画	23
ボランティア活動	24
出版物	27
収集活動	
美術資料	29
図書・映像資料	32
美術資料の修復・貸出	33
市民による施設の利用	
展示室	36
講堂	43
教養講座室	43
実技講座室	45
版画印刷工房	46
入場者数一覧	
展覧会観覧者数	48
読書室利用者数	49
名簿	50

- 1 本冊子は福岡市美術館の平成18年4月1日から平成19年3月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の会期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH18は平成18年の略字である。
- 2 「美術館日誌」は美術館主催の主要な事業を挙げた。
- 3 主催展覧会の観覧者数の明細は「展覧会観覧者数」に別途記載している。展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行しているので、参照のこと。
- 4 「収集活動」の「美術資料」は平成18年度に本市が財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。なお、データの寸法(法量)は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3(イメージサイズ)で、立体作品の74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。例えば1-A-452は郷土作家の油彩画の452番である。

1 郷土作家(注1)	A 油彩等(注2)	作品番号
2 日本作家	B 日本画等(注3)	
3 海外作家	C 水彩等(注4)	
4 黒田資料	D 素描	
5 東光院仏教美術資料	E 版画	
6 松永コレクション	F 写真	
7 太田コレクション	G 彫刻等(注5)	
9 石村コレクション	Ha~Hf 工芸(注6)	
11 森山コレクション	I 書跡	
12 三宅コレクション	J 文書	
13 山崎朝雲資料	K その他	
14 一般古美術資料		
15 研究資料		
16 西本コレクション		
17 本多コレクション		
18 クスマコレクション		
19 藤森静雄資料		

注

1. 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家。
2. A(油彩等)の分類には、大きさや形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわち、アクリル絵の具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラーージュ、布・紙・金属などの特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される壁面展示の作品、版画技法を用いなくても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品もまたAに分類した。
3. B(日本画等)の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
4. C(水彩等)の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。
5. G(彫刻等)の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
6. H(工芸)は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

なお作品名の[]は当館で作成した仮題である。

- 5 図版の*は藤本健八氏撮影のものである。

平成18年

- 4月 1日 (土) 「ポーラ美術館の印象派コレクション展」開催、同展開会式 (5月14日まで)
- 7月 1日 (土) 夏期の開館時間延長開始 (8月31日まで)
- 7月21日 (金) 平成17年度の美術資料寄贈者への感謝状贈呈式
- 7月22日 (土) 夏休み子ども美術館2006子どもワークショップ「見て!作ろう!仏さま」(7月22日、8月12日の全2回)
- 7月26日 (水) 平成18年度第1回美術館協議会
夏休み子ども美術館2006「美術館探検」(7月26日、8月2日、8月9日、8月16日、8月23日の全5回)
- 7月27日 (木) 中学校交流ワークショップ「中学生による常設展示ギャラリートーク」(7月27日、7月28日、8月2日の全3回)
- 7月30日 (日) 「横山大観展」開催、同展開会式 (9月3日まで)
- 9月 8日 (金) 平成18年度第2回美術館協議会
- 9月16日 (土) 「ポンペイの輝き展」開催、同展開会式 (11月5日まで)
- 9月22日 (金) 「生誕100年 前川國男建築展」開催、同展開会式 (11月5日まで)
- 11月 1日 (水) 古美術企画展「日下部啓子コレクション インドネシア・スラウェシ島の染織 聖なる布の系譜」開催 (12月27日まで)
- 11月 3日 (金・祝) 開館記念事業 図録フェア開催
開館記念日につき常設展観覧料無料
- 12月 2日 (土) 「つくって!わかる?アート講座 vol.2 場所を聴く～音のアートを体験しよう!～」
- 12月27日 (水) 仕事納め

平成19年

- 1月 4日 (木) 仕事始め
- 1月 5日 (金) 近現代美術企画展「大濠 美術館ものがたり」開催 (2月18日まで)
- 1月31日 (水) 美術資料収集審査会 (古美術)
- 2月23日 (金) 「第41回福岡市美術展」入賞・入選者発表
- 3月 2日 (金) 美術資料収集審査会 (近現代美術)
- 3月 6日 (火) 「第41回福岡市美術展」開催 (3月18日まで)
- 3月10日 (土) 第9回所蔵品によるアートセミナー
「吉村忠夫—典雅なる近代大和絵の軌跡」(3月10日、3月17日、3月24日の全3回)
- 3月11日 (日) 「第41回福岡市美術展」表彰式



▲第41回福岡市美術展表彰式

特別企画展等

ポーラ美術館の 印象派コレクション展

会期：平成18年4月1日(土)～5月14日(日)

会場：特別展示室A



▲ポスター-B2



▲会場風景

内容

2002年9月に箱根に開館したポーラ美術館は、西洋・日本の近代絵画、さらにはガラス工芸や東洋陶磁、化粧道具にいたる広範かつ良質なコレクション約9500点を蔵する。これら所蔵品の中から、特に人気の高い印象派の巨匠の作品を中心に、モネやルノワール、セザンヌなど22作家による74点が出品された。

ポーラ美術館の印象派コレクションは、オーナーの故鈴木常司氏が40年以上にわたり一人で収集したもの。各作家の重要な時期の作品をバランスよく含んだ、体系的な収集が特徴で、印象派前夜から印象派、ポスト印象派、新印象派、象徴主義といった美術の展開を概観できる展覧会構成となった。

出品点数 74点

関連事業

▶ 記念講演会

「ポーラ美術館の印象派」

日時：平成18年4月15日(土) 午後2時～4時

講師：荒屋鋪 透氏(ポーラ美術館学芸部長・本展監修)

会場：講堂

聴講者数：120人

▶ 記念セミナー

「絵を見る楽しみ：印象派からポスト印象派へ」

日時：平成18年4月29日(土・祝) 午後2時～3時30分

講師：米村典子氏(九州大学芸術工学院助教授)

会場：講堂

聴講者数：180人

主催等

主催：福岡市美術館／RKB毎日放送／西日本新聞社／ポーラ美術館

後援：フランス大使館／福岡県／福岡県教育委員会／(財)福岡市文化芸術振興財団／福岡商工会議所／西日本鉄道／JR九州／九州日仏学館／西日本リビング新聞社／CROSS FM／FM福岡／天神エフエム／LOVE FM／西日本文化サークル連合／西日本天神文化サークル
協力：日本通運／三井住友海上／西鉄旅行

観覧料

一般・・・1,300円(1,100円)

高・大生・・・800円(600円)

小・中生・・・500円(300円)

※()は前売りおよび20人以上の団体、シルバー手帳・身体障害者手帳・精神障害者保険福祉手帳・療育手帳所持者料金。

開催日数 38日

観覧者数 77,655人

印刷物

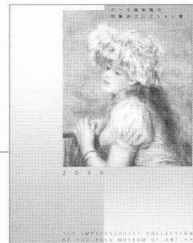
ポスター(B1・B2・B3)

チラシ(A4)

図録(A4変形・153頁)

関連記事

p.16を参照。



▲図録

近代日本画の巨匠 横山大観展

会期：平成18年7月30日（日）～9月3日（日）

会場：特別展示室A



▲ポスター-B2



▲会場風景

内容

横山大観はわが国で最も知名度の高い日本画家のひとりで、代表作「無我」「屈原」「生々流転」「夜桜」などは、日本人の心に深い感銘を与えてきた。師・岡倉天心亡きあと日本美術院を再興するなど官展に対抗する豊かな在野精神を示し、画業においても天心が唱えた東洋的理想主義の実現を目指して数々の話題作を発表し続け、近代日本画画壇の中心人物として活躍した。本展では修業時代から晩年までの代表作62点により、活動の全容を紹介した。

出品点数 62点

関連事業

▶ 記念講演会

「大観芸術の意義について」

日時：平成18年8月13日（日）午後2時～3時55分

講師：古田 亮氏（東京藝術大学大学美術館助教授）

会場：講堂

聴講者数：152人

「祖父大観を語る」

日時：平成18年8月20日（日）午後2時～3時30分

講師：横山 隆氏（横山大観記念館理事長）

会場：講堂

聴講者数：250人

主催等

主催：福岡市美術館／西日本新聞社／TVQ九州放送
 後援：福岡県／福岡県教育委員会／（財）福岡市文化芸術振興財団／日本経済新聞社／西日本リビング新聞社／CROSS FM／fm fukuoka／LOVE FM／FREE WAVE TENJIN FM／西日本鉄道／九州旅客鉄道／西日本文化サークル連合／西日本天神文化サークル／（財）福岡文化財団

協力：横山大観記念館／日本美術院

賛助：福岡トヨペット／味の明太子ふくや／九州電力

観覧料

一般・・・1,300円（1,100円）

高・大生・・・800円（600円）

小・中生・・・500円（300円）

回数券・・・2回券1,800円、3回券2,400円

※（ ）は前売りおよび20人以上の団体、シルバー手帳・身体障害者手帳・精神障害者保険福祉手帳・療育手帳所持者料金。

開催日数 31日

観覧者数 108,036人

印刷物

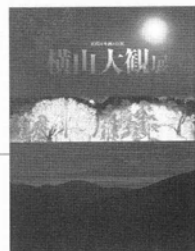
ポスター（B1・B2・B3）

チラシ（A3二つ折り）

図録（A4変形・193頁）

関連記事

p.17を参照。



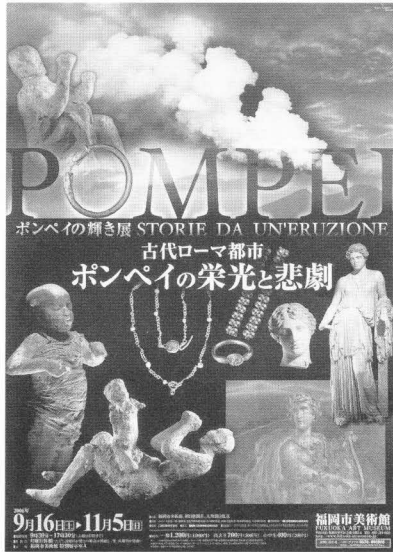
▲図録

ポンペイの輝き展

古代ローマ都市ポンペイの栄光と悲劇

会期：平成18年9月16日(土)～11月5日(日)

会場：特別展示室A



▲ポスター-B2



▲会場風景(提供 朝日新聞社)

内容

古代ローマの西暦79年、火山噴火によって一夜にして地中に埋もれた都市ポンペイ。その繁栄の歴史と悲劇の瞬間を物語る出土物の輝きは、今も人々の心をとらえて離さない。本展は、ポンペイの周辺にあって同じ運命を辿った都市遺跡にも注目し、本邦初公開の出土物を中心に、宝飾品、フレスコ画、犠牲者の型どりなど約400件を展観した。

出品点数 約400件

関連事業

▶ 記念講演会

「ポンペイの光と影」

日 時：平成18年10月14日(土) 午後2時～4時

講 師：青柳正規氏(国立西洋美術館長)

会 場：講堂

聴講者数：236人

主催等

主催：福岡市美術館／朝日新聞社／九州朝日放送
後援：イタリア大使館／(財)福岡市文化芸術振興財団／山口朝日放送／長崎文化放送／熊本朝日放送／大分朝日放送

特別協賛：住友金属鉱産株式会社

協 賛：凸版印刷株式会社

協 力：NCA日本貨物航空株式会社

企画協力：イタリア文化省／ポンペイ考古学監督局／ナポリ・カゼルタ考古学監督局／カンパニア州

観覧料

一般・・・1,200円(1,000円)

高・大生・・・700円(500円)

小・中生・・・400円(200円)

※()内は前売りおよび20人以上の団体、シルバー手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳所持者の料金。

開催日数 44日

観覧者数 53,608人

印刷物

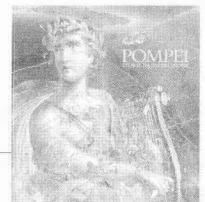
ポスター(B1・B2・B3)

チラシ(A4)

図録(A4変形・238頁)

関連記事

p.17を参照。



▲図録

モダニズムの先駆者 生誕100年 前川國男 建築展

会期：平成18年9月22日(金)～11月5日(日)
会場：特別展示室B



▲ポスター-B2



▲会場風景

内容

福岡市美術館の設計者であり、戦前・戦後を通して日本の近代建築に重要な足跡を残した建築家・前川國男(1905-86)の生誕100年を記念して開催された回顧展。前川の、50年に及ぶ仕事を振り返り、彼の建築思想を広く検証した。建築図面、模型のほか、スケッチ、写真、資料などで、前川の仕事振り返り、九州大学の協力を得て当館およびその周辺の情景模型も制作・展示。当館では初めての建築家の展覧会。

出品点数

298点(建築図面100点、スケッチ13点、写真267点、建築模型16点)
その他、前川デザインの事務机と椅子、直筆原稿、遺品などを展示。

関連事業

▶ワークショップ

「福岡市の建築・1日見学バスツアー」

日時：平成18年10月7日(土) 午前10時～午後5時

参加費：1000円(昼食代、保険代、資料代含む)

案内役：水野 宏氏(建築家)、廣瀬正人氏(建築家)

コース：福岡市美術館(出発)→百道浜住宅街(ネクサス百道)→香椎ネクサスワールド→ぐりんぐりん(アイランドシティ内)→〔昼食〕→九州大学本部→西日本シティ銀行本店→聖福寺周辺の町並み→秀巧社ビル→児島洋紙→福岡市文学館→日本銀行福岡支店→天神ビル(解散)

参加者数：42人

▶記念講演会

「前川國男と福岡市美術館—美術館建設の舞台裏(対談)」

日時：平成18年10月28日(土) 午後2時～4時頃

対談者：南條一秀氏(元・前川國男建築設計事務所、現・大日建築設計 取締役)
安永幸一氏(元・福岡市美術館副館長、現・福岡アジア美術館 顧問)

会場：講堂

聴講者数：106人

主催等

主催：福岡市美術館／朝日新聞社／九州朝日放送／生誕100年・前川國男建築展実行委員会
後援：日本建築家協会／日本建築学会／日本建築士会連合会／日本建築士事務所協会連合会／(財)福岡市文化芸術振興財団
特別協力：前川建築設計事務所
協力：三菱化学産資／不二窯業
特別協賛：(財)福岡文化財団
協賛：アオキインターナショナル／アクタス／朝日管工／エクスナレッジ／大阪ガスケミカル／大林組／大本組／鹿島建設／関電工／紀伊国屋書店／国立音楽大学／建築家会館／ココファニチャー／三協アルミニウム工業／三晃金属工業／清水建設／蛇の目ミシン工業／彰国社／大気社／大成建設／タキヤ／竹中工務店／龍村美術織物／天童木工／東海電機／東洋熱工業／戸田建設／ナカ工業／永田音響設計／西原衛生工業所／日本電気硝子／日立ビルシステム／不二窯業／北陸アルコン／前川製作所／マガジンハウス【casa BRUTUS】／松下電工／丸茂電機／ミナト建材／森平舞台機構／ヤマキ工業／ヤマハサウンドテック／ユニオン／四電工／ロイヤルファニチャーコレクション(社)企業メセナ協議会認定

観覧料

一般・・・500円(400円)
高・大生・・・300円(200円)
小・中生・・・無料

※()内は前売りおよび20人以上の団体、シルバー手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳所持者、「ボンベイの輝き」展チケット提示者の料金。

開催日数 39日

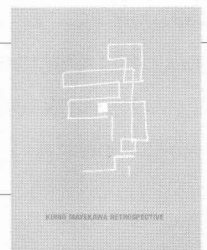
観覧者数 6,164人

印刷物

ポスター(B2)
チラシ(A4)
図録(A4変形・330頁)

関連記事

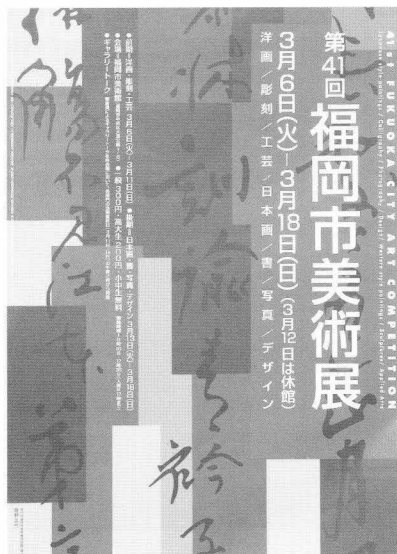
p.18を参照。



▲図録

第41回福岡市美術展

会期：平成19年3月6日(火)～3月18日(日)
 前期：洋画、彫刻、工芸 3月6日(火)～3月11日(日)
 後期：日本画、書、写真、デザイン 3月13日(火)～3月18日(日)
 会場：特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D



▲ポスターB2



▲福岡市美術展特別賞
 内川満二郎《ハルーンのメロディ》*

内容

美術の各分野における市民の創造活動を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的に毎年開催している公募展。今回は、洋画等7部門で、1171人(1372点)の応募があり、内688人(693点)が入選。このうち、市長賞など入賞作品は67点であった。

展示点数 693点

関連事業

▶入賞・入選発表

期 日：平成19年2月23日(金)

▶表彰式

期 日：平成19年3月11日(日)

会 場：講堂

各 賞：福岡市美術展特別賞1点、福岡市長賞7点、福岡市議会議長賞2点、福岡市教育委員会賞、福岡県美術協会賞、福岡文化連盟賞、福岡市文化芸術振興財団賞、九州日仏学館賞各1点、西日本新聞社賞3点、福岡県美術協会奨励賞2点、奨励賞47点

▶ギャラリートーク

前 期：平成19年3月11日(日)

後 期：平成19年3月18日(日)

主催等

主 催：福岡市/福岡市教育委員会/福岡市美術展運営委員会
 後 援：九州日仏学館/福岡県/(社)福岡県美術協会/福岡文化連盟/(財)福岡市文化芸術振興財団/西日本新聞社

観覧料

一般・・・300円 高・大生・・・200円 小・中生無料

※障害者手帳所持者は無料

開催日数 12日

観覧者数 6,940人

印刷物

ポスター(B2・2種)
 開催要項(A3二つ折)
 図録(A4変形・48頁)



▲図録

関連記事

p.18を参照。

出品・入賞・入選状況

部門	出品合計(応募)		展示		展示 点数(点)
	人員(人)	点数(点)	入賞・入選 人員(人)	招待 人員(人)	
日本画	34	35	24	24	5
洋画	298	370	191	191	6
彫刻	30	34	25	25	5
工芸	107	133	56	58	5
書	241	250	146	146	6
写真	315	400	187	187	6
デザイン	146	150	59	62	7
合計	1,171	1,372	688	693	40

※招待点数は審査員出品を含む。

常設展

■近現代美術

近現代美術室

世界・日本・九州の美術：20世紀から21世紀へ

会期：平成18年5月11日(木)～平成19年6月3日(日)

当館では、明治期以後の九州・山口地域の出身(在住)で、当地あるいは国内外の美術史上重要な役割を果たした美術家、および日本・海外の近代・現代美術を語る上で重要な美術家の作品を収集・展示している。コラン、黒田清輝、青木繁から、ミロ、ダリ、シャガール、そしてウォーホルといった当館を代表する作品に加え、2006年初めに惜しくも世を去ったナムジュン・パイクのビデオアート、そして昨年度新収蔵となった現代美術家グルスキー、大竹伸朗など70点を展示。

1. 「美術」の黎明—ラファエル・コランと近代日本の洋画家たち
2. 様々なヨーロッパ美術の移入と美術団体—大正末期～昭和初期(1920-30年代)の美術
3. 1945年以後の表現—①／不安と絶望からの出発
4. 1945年以後の表現—②／1960年代・変貌する美術 Art into Life!
5. 表面、層、増殖／描く、貼る、反復する

日本画工芸室

富田溪仙展

会期：平成18年4月4日(火)～5月21日(日)

博多出身の日本画家富田溪仙(1879-1936)は、京都で絵画修行を積み、明治末期から昭和のはじめまで展覧や文展などを主な発表の場として活躍した。自由で飄逸な作風で親しまれる、郷土を代表する日本画家の一人。当館の春を告げる恒例の《御室の桜》をはじめ、溪仙の作品世界を伝える作品11点を展示した。

絵画に見る夏の風物

会期：平成18年5月23日(火)～7月9日(日)

夏の風物を主題とした日本画、油彩画10点を展示した。

日本美術院の画家たち

会期：平成18年7月11日(火)～8月27日(日)

1898(明治31)年に東京美術学校を卒業した岡倉天心を中心に創設された日本美術院。その再興に中心的な役割を果たした横山大観の回顧展の開催にちなみ、日本画の革新に足跡を残した大観とその仲間や後進たちの作品11点を所蔵品から特集展示した。

富田溪仙《伝書鳩》1934年頃▶



水上泰生・今中素友展

会期：平成18年8月29日(火)～10月29日(日)

福岡県那珂郡住吉村(現在の福岡市博多区)出身の水上泰生と早良郡鳥飼村(現在の福岡市城南区)出身の今中素友。明治末から昭和前期まで、文展や帝展で活躍した郷土の日本画家の作品を特集した。花鳥画を得意とした二人の18点を展示。

太田コレクション展

会期：平成18年10月31日(火)～12月27日(水)

福岡市出身の実業家で、元・東邦生命会長の五世・太田清蔵(1893-1977)は、美術愛好・収集家としても著名だった。1977(昭和52)年に当館に寄贈された383点の中から、洋画、日本画、彫刻24点を展示した。

吉村忠夫展

会期：平成19年2月20日(火)～3月25日(日)

現在の北九州市八幡西区黒崎出身の吉村忠夫(1898-1952)は、東京美術学校で学び、松岡映丘門下となり、やまと絵風の歴史風俗画を描いて官展で活躍した日本画家。《龍女》など上代、王朝の典雅な雰囲気漂わす忠夫の作品8点と、安田靉彦など関連作家5点の合計13点を展示した。

小作品室

ベルナルド・ビュッフェ展(西本コレクション)

会期：平成18年4月4日(火)～5月21日(日)

第二次世界大戦の傷跡、記憶がまだ生々しかったパリ画壇にきら星のごとく現れたベルナルド・ビュッフェ(1928-1999)。線刻を思わせる強靱な線描による明快な具象表現は、ヨーロッパは元より日本でも評価された。西本コレクションの中から油彩画、版画14点を展示した。

片山雅史展—「風」のシリーズより

会期：平成18年5月23日(火)～7月9日(日)

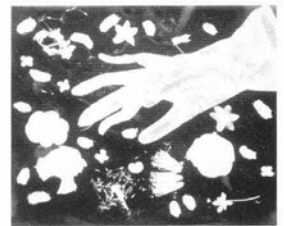
近年は半透明の層を塗り重ねた「皮膚」シリーズに取り組み、福岡市在住の画家・片山雅史。今回は「皮膚」以前の作品に注目し、1980年代から90年代に制作された「風」をテーマとした抽象作品を、新収蔵のドローイングと版画を中心に特集した。黒いインクによる即興的な筆跡を、きらめく鉱物顔料で塗り込めた緊張感漂う作品19点を展示。

恩地孝四郎の版画・素描・フォトグラム

会期：平成18年7月11日(火)～8月27日(日)

創作版画の推進者であると同時に、日本の抽象画の先駆者でもある東京都出身の恩地孝四郎(1891-1955)を特集した。繊細な感受性をたたえながら、つねに新しい表現に挑戦した恩地の作品27点を展示。

恩地孝四郎《フォトグラム》1930-50年*▶



ヤセ犬の軌跡—藤浩志の素描・水彩

会期：平成18年8月29日(火)～10月29日(日)

2005年「第6回21世紀の作家—福岡」展でも取り上げた藤浩志(1960年生)の幅広く多彩な活動の原点を示す素描・水彩作品を紹介。自らの価値観を揺さぶったパプアニューギニアでの滞在中に制作された風景画や、環境問題への関心を示す新聞紙上のドローイングなど、未発表を含む20点を展示した。

藤 浩志《途上国の環境を救え》1993年▶



伊奈英次展—都市のメカニズムを撮る

会期：平成18年10月31日(火)～12月27日(水)

伊奈英次(1957年生)は、在日米軍の通信施設を撮った《ZONE》や、産業廃棄物を美しく接写した《WASTE》など、私たちの日常から遠ざけられた、しかし確実に私たちの生活を支配している被写体を高度な撮影技術で作品化する気鋭の写真家。2003年当館主催「都市風景のメカニズム」にも出品した《WASTE》シリーズを含む、伊奈の代表的な写真作品16点を展示した。

カール・コーラップ展(西本コレクション)

会期:平成19年2月20日(火)ー3月25日(日)

オーストリア生まれの版画家、カール・コーラップ(1937年生)は、1969年より版画制作を開始。ヨーロッパ各地の国際版画展に出品、受賞多数。仮面や人形に似た人物の顔だけを拡大し、それと無関係な物体を併置させて、異様な光景を表現する。多数の寄贈作品「西本コレクション」から27点を展示した。

企画展示室

サーカスー歓喜と哀愁

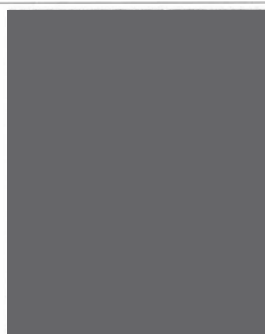
会期:平成18年4月4日(火)ー5月21日(日)

独特の歓喜と哀愁が同居する「サーカス」や「ピエロ」は、特に近代の画家達によって好んでモチーフとされてきた。西本コレクションを含む当館の所蔵品の中から、サーカスやピエロに関する興味深い作品32点を展示。

結成50周年記念 シリーズ「九州派再訪ー1」

会期:平成18年5月23日(火)ー7月9日(日)

当館では前衛美術集団「九州派」を初めて回顧する展覧会を1988(昭和63)年に行い、その後も作品・資料の収集と研究を続けてきた。1957(昭和32)年結成の「九州派」が、まもなく結成50周年を迎えることを記念して、今年度からシリーズ「九州派再訪」を開催し、九州派とその時代を「再訪」する。第1回目の本展では、「九州派」結成直前直後の時期にスポットをあて、所蔵作品、寄託作品、個人所蔵作品25点と関連資料を展示した。



▲山内重太郎《サビツイタ裸女》1957年

吉田博とその家族

会期:平成18年7月11日(火)ー8月27日(日)

明治、大正、昭和の三代にわたり水彩画、油彩画、木版画で活躍した吉田博(1876-1950)の家族は美術家一家としても知られた。養父・嘉三郎は明治初期の洋画家、義妹であり後の妻・ふじをは女流画家のパイオニアの一人。子息の逸志、穂高も日本を代表する版画家だった。彼らの油彩画、水彩画、版画37点を展示した。



吉田博《アルプスの山小屋》1925年▶

森へー戸谷成雄展

会期:平成18年8月29日(火)ー10月29日(日)

戸谷成雄(1947年生)は、1970年代に行き詰まりを見せた「彫刻」概念を、自らの方法で原理的なレベルから捉え直し、木のブロックをチェーンソーで切り刻んだ「森」シリーズに到達した。近年収集した《森VIII》を企画展示室全体を使って展示。同時に関連ドローイング30点も展示した。

もの派ー「美術」への問いかけ

会期:平成18年10月31日(火)ー12月27日(水)

ベトナム戦争や公害、学生運動の激化など西欧流の近代主義が行き詰まりを見せた1960年代末期、あえて「作品」をつくることそのものに疑問を見いだした美術家たちがいた。石や鉄、粘土など、作品の素材でしかなかったモノを、ほとんど手を加えずそのまま提示することで「作品」とした「もの派」の衝撃は、以後の美術概念に少なからず影響を与えている。近年の収蔵作品、寄託作品によって、現代美術の分水嶺的な動向を紹介した。15点を展示(内1点は屋外作品)。

田崎広助展

会期:平成19年2月20日(火)ー3月25日(日)

福岡県八女出身で、山岳風景画で知られる文化勲章受章者田崎広助(1898-1984)の代表作15点を展示。

■古美術

古美術企画展示室

田中丸コレクション・コーナー展示

会期:第1期 平成18年3月28日(火)ー5月28日(日)

第II期 平成18年7月19日(水)ー10月29日(日)

第III期 平成19年1月5日(金)ー3月25日(日)

昨年度寄託された田中丸コレクションには、唐津、高取、上野、八代、小代、薩摩、現川、柳原、志賀、鵬ヶ崎といった十産地の陶器作品が含まれている。この十の産地の代表的作品を精選し、茶道具、食器、文房具など毎回20点前後を展覧した。

琉球の美

会期:平成18年3月28日(火)ー5月28日(日)

今の沖縄諸島を領土としていた琉球国は、海を隔てた諸外国との活発な文化交流を通じて、独特の魅力をもつ美術・工芸を創出した。本展では、沖縄特産の夜光貝を多用した螺鈿のほか、沈金、箔絵といった琉球ならではの技法による漆器をはじめ、土族階級で珍重された紅型(びんがた)や藍型(あいがた)など28点を紹介した。

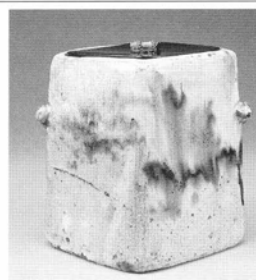


▲珠取双龍文螺鈿鉢 江戸時代

田中丸コレクション 唐津と高取

会期:平成18年5月30日(火)ー7月17日(月・祝)

田中丸コレクションを築いた田中丸善八氏(1894-1973)は、昭和12年頃に入手した《絵唐津木賊文茶碗》が評価されたのをきっかけに、本格的な収集活動に乗り出した。その結果として唐津焼は四百余点のコレクション全体の四分の一を占める中核的存在となった。本展では、唐津焼と、唐津焼と深い関わりをもつ高取焼に焦点をあて、58点を展示した。



▲撫四方耳付水指(内ヶ磯窯) 江戸時代前期

夏休み子ども美術館2006

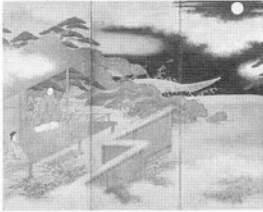
子どもギャラリー「見てみよう!神さま・仏さまのかたち」
会期:平成18年7月19日(水)ー8月27日(日)

当館所蔵の仏教彫刻を中心に子ども向け展示を行った。仏像のポーズや表情、衣装などを観察しながら、その仏像がどのような性格のものか、子どもたちなりの視点で想像してもらうことを目的に、《不動明王図》(鎌倉時代)など15点を展示。その鑑賞の補助に子ども向けのワークシートを無料配布した。

森山コレクション展

会期:平成18年8月29日(火)ー10月29日(日)

森山コレクションは、福岡の経済界で活躍された故・森山馨氏が収集した、中国と日本の絵画や工芸、仏教経典の名品からなる。土佐光起筆《源氏物語図屏風》や伝・沈周筆《山水図巻》など代表作17点を展示した。



土佐光起筆 源氏物語図屏風(部分) 江戸時代*

わたしの仙厓

会期:平成19年1月5日(金)ー2月18日(日)

江戸時代、博多に住んだ禅僧仙厓は、多くの軽妙な墨画を描いた。本館の仙厓作品の画題には仏や禅僧ばかりでなく、心なごむ博多の風物などもあり、収集家の仙厓の見方があらわれているようである。《無法の竹図》(三宅コレクション)ほか27点を展示。

本多コレクションータイの陶磁

会期:平成19年2月20日(火)ー3月25日(日)

本多コレクションは、東南アジア古陶磁の蒐集で世界的に知られるが、なかでも最も大きな部分を占めるのがタイの陶磁器である。本展では、タイ窯業の聖地スコータイ、シーサッチャナライの他、近年研究が盛んとなっているタイ北部地域の遺例も取り上げ、青磁、鉄絵などの優品46点を展示した。

松永記念館室

春の名品展

会期:平成18年3月28日(火)ー5月28日(日)

4月、5月という季節にふさわしい作品と、松永コレクションの茶道具を取り合わせて展覧した。常時展示中の野々村仁清作《色絵吉野山図茶壺》のほか、春日野の春景を見せる《春日社寺曼荼羅図》や、初夏を彩る水辺のあやめを描いた《志野あやめ絵鉢》、花祭りにちなんで仏教美術も加え、20点を展覧した。

茶道具の四季

会期:平成18年5月30日(火)ー7月17日(月・祝)

茶の湯の世界では多くの場合、点前道具、飾り道具、懐石道具など、茶席を彩るあらゆる茶道具に、その時々季節に相応しいものを選び用いることが求められる。本展は、松永コレクションの陶磁器や掛軸の中から、茶道具を中心に春、夏、秋、冬それぞれの季節感を豊かに醸し出す作品22点を展示した。

懐石の器 向付・鉢・酒器

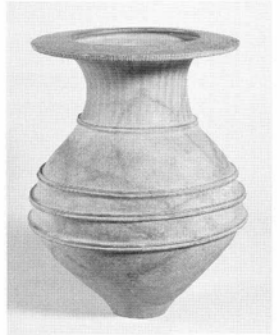
会期:平成18年7月19日(水)ー8月27日(日)

茶の湯の料理を意味する懐石(かいせき)は、茶席で客人をもてなす上での最も重要なふるまいのひとつである。本展は、松永コレクションの中から、向付、鉢、酒器を中心に、懐石に用いられたと思われる器に焦点をあて、20点を展示した。

東西の出土文物

会期:平成18年8月29日(火)ー10月29日(日)

本展は、松永コレクションにある東西の出土文物に着目し、弥生時代の土器をはじめ、中国古代の青銅器や漆器、ペルシア地域の陶器など25点を精選して展示。



壺形土器 弥生時代▶

秋の名品展

会期:平成18年10月31日(火)ー12月27日(水)

夏から冬への移ろいに、快さとの寂さが複雑に入り交じる秋の季節。尾形乾山筆《花籠図》の他、朝鮮の陶器や桃山茶陶など、侘び茶の世界で愛された茶道具を中心に、古来日本人が殊更に愛してきたこの季節に相応しい名品18点を展示。

新春名品展

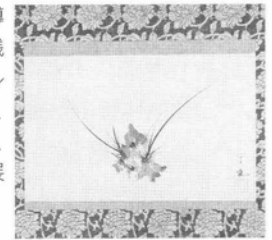
会期:平成19年1月5日(金)ー2月18日(日)

耳庵・松永安左工門は、茶の湯を始めて間もない頃から、正月の席には伝・本阿弥光悦書、尾形光琳筆の《金銀泥梅花図》と古雲鶴筒茶碗を用いてきた。これらのほか、新春にふさわしい《黒織部筒茶碗 銘「さわらび」》など18点を展示した。

遠州と茶

会期:平成19年2月20日(火)ー3月25日(日)

千利休、古田織部に続いて茶道界の指導的役割を担い、「綺麗さび」という理念を残した大名茶人・小堀遠州。松永耳庵のコレクションに見られる、遠州の影響を求めて、遠州の書付を伴う子庭筆《石菖図》ほか、遠州にちなんだ作品16点と附属資料を展示した。



▲子庭筆 石菖図 元時代*

東光院仏教美術室

薬師如来と十二神将立像(藤原時代・南北朝時代)ほか東光院伝来の仏教彫刻を展示。

観覧料: 一般200円(150円)、高・大生150円(100円)、小・中生無料。ただし、福岡市発行のシルバー手帳および北九州市発行の年長者施設利用証・療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。()内は団体(20人以上)料金。

観覧者数: p.48を参照。

関連記事: p.19を参照。

常設企画展

日下部啓子コレクション

インドネシア・スラウェシ島の染織 聖なる布の系譜

会期：平成18年11月1日（水）～12月27日（水）

会場：古美術企画展示室



▲ポスターB2



▲会場風景

内容

インドネシア・スラウェシ島内陸部の高地に住む南・西スラウェシ州山岳地帯のトラジャ人たちは、葬祭、収穫、新築などに際して壮大な儀礼を営むことで知られている。儀礼に用いられる「聖なる布」は、神々と人間を結び家宝として、代々受け継がれてきた。

本展では、日下部啓子氏のコレクションから、トラジャの代表的染織である経緋や縹緋染の儀礼布に加え、今までほとんど紹介されてこなかったカード織や、世界に類を見ない技術で織られた儀礼用布を展示し、トラジャの染織の包括的紹介を行った。

出品点数 81点

関連事業

▶ ギャラリー・トーク

日時：平成18年11月25日（土）、26日（日） いずれも午後2時より

講師：日下部啓子氏（コレクター）

会場：古美術企画展示室

主催等

主催：福岡市美術館／読売新聞西部本社／美術館
連絡協議会
協賛：花王株式会社

観覧料

常設展観覧料（p.13を参照）

開催日数 49日

観覧者数

常設展観覧者数（p.48を参照）

印刷物

ポスター（B2）

チラシ（A4）

図録（A4変形・135頁）

関連記事

p.18を参照。



▲図録

大濠 美術館ものがたり

昭和2年福岡、東亜勸業博覧会開幕。

会期：平成19年1月5日（金）～2月18日（日）
会場：企画展示室、小作品室、日本画工芸室



▲ポスター-B2



▲会場風景

内容

現在、福岡市美術館が位置する大濠公園。この地は、昭和2（1927）年の東亜勸業博覧会のために造成されたものである。東亜博の会場には仮設の美術館が設けられ、郷土のみならず全国的な巨匠の作品が展示された。80年前にこの大濠を中心とする福岡の地で見ることの出来た美術はいかなるものだったか、当時の美術状況を回顧すべく、東亜勸業博覧会を中心とする当時の出品作品や関連作品31点、絵はがきや映像などの関連資料54点を紹介した。

出品点数 作品31点 資料54点

関連事業

▶ ツアー&トーク「モボとモガの大濠散歩」

観月橋、舞鶴橋など東亜勸業博覧会当時の面影を残す大濠公園周辺のスポットを散策した後、学芸員がギャラリートークを行った。

日時：第1回 平成19年1月13日（土）午後1時30分～4時
第2回 平成19年1月14日（日）午後1時30分～4時

参加費：100円（資料代・保険料込）

講師：山本香瑞子（福岡市美術館学芸員）

参加者数：第1回 6人 第2回 11人

観覧料

常設展観覧料（p.13を参照）

開催日数 39日

観覧者数

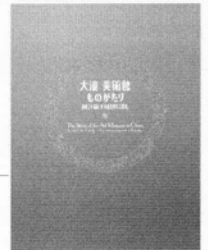
常設展観覧者数（p.48を参照）

印刷物

ポスター（B2）
チラシ（A4）
図録（A4変形・48頁）
リーフレット（A4・4頁）

関連記事

p.19を参照。



▲図録

展覧会関連記事

ポーラ美術館の印象派コレクション展

西日本新聞(夕刊)	H18.3.14	モネ、ルノワール、セザンヌ、ドガ…/連なる巨匠たち魅惑の印象派絵画/ポーラ美術館の印象派コレクション展/74点を一堂に集め
西日本新聞(朝刊)	H18.3.19	世界に誇る珠玉の作品74点を一堂に/「ポーラ美術館の印象派コレクション展」/西日本新聞創刊130周年記念
西日本新聞(朝刊)	H18.3.28	ポーラ美術館の印象派コレクション展/来月1日から福岡市美術館/豊かな色彩、柔らかなタッチ
西日本新聞(朝刊)	H18.3.28	印象派に見るジャポニスム/分かりやすさに共感/荒屋鋪 透
西日本新聞(朝刊)	H18.4.1	ポーラ美術館の印象派コレクション展(5月14日まで 福岡市美術館)/巨匠たちの作品を一挙に公開/福岡市美術館学芸員・山本香瑞子
西日本新聞(夕刊)	H18.4.1	鮮やかな色彩 魅了/印象派コレクション展始まる/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H18.4.2	印象派コレクション展/風景や日常を生き生き描写/福岡市美術館で開幕
西日本新聞(夕刊)	H18.4.7	公園の緑に溶け込む福岡市美術館/「ポーラ美術館の印象派コレクション展」開催中
西日本新聞(朝刊)	H18.4.11	印象派 故郷を訪ねて(1)/カプシーヌ通り 新しい潮流、誕生の地/文化部・小池鈴美
西日本新聞(朝刊)	H18.4.12	印象派 故郷を訪ねて(2)/シャトゥー 絵の舞台、寄付で復活
西日本新聞(朝刊)	H18.4.12	「印象派展」入場者1万人に/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H18.4.13	印象派 故郷を訪ねて(3)/アルジャントウイユ モネもひかれた風景
西日本新聞(朝刊)	H18.4.14	印象派 故郷を訪ねて(4)/エクス・アン・プロヴァンス 創作意欲をかき立て
長崎新聞(朝刊)	H18.4.14	はなまるふくおか/モネなどの名品74点/印象派コレクション展/福岡支社
西日本新聞(朝刊)	H18.4.15	印象派 故郷を訪ねて(5)/モンマルトル 聖地に変わらぬ活気
西日本新聞(朝刊)	H18.4.16	ポーラ美術館展 記念講演会を開き印象派の特色解説/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H18.4.20	ポーラ美術館の印象派コレクション展/光から色彩、形態へ。印象派絵画の流れをたどる/～印象派前夜から印象派へI/～印象派と点描派II/～ポスト印象派III/～世紀末へIV
西日本新聞(朝刊)	H18.4.21	入場2万人を突破/蔵本さんに記念品/ポーラ美術館展
西日本新聞(朝刊)	H18.4.22	春秋
西日本新聞(朝刊)	H18.4.23	ポーラ美術館の印象派コレクション展/モネ、ドガ、ルノワール、ゴーガン、セザンヌ、ロートレック…世界に誇る印象派ベストコレクション/財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館 学芸員 岩崎余帆子
西日本新聞(朝刊)	H18.4.25	ポーラ美術館の印象派コレクション展/心揺さぶる画家の情熱/来月14日まで福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H18.4.25	印象派コレクション展 5つのきらめき(1)/アルフレッド・シスレー 穏やかな詩情たたえ/福岡市美術館学芸員 山本香瑞子
西日本新聞(朝刊)	H18.4.26	印象派コレクション展 5つのきらめき(2)/エドガー・ドガ 「踊り子」を生涯探究/福岡市美術館学芸員 山本香瑞子
西日本新聞(朝刊)	H18.4.27	印象派コレクション展 5つのきらめき(3)/ピエール=オーギュスト・ルノワール 女性の服に高い関心/福岡市美術館学芸員 山本香瑞子
西日本新聞(朝刊)	H18.4.28	印象派コレクション展 5つのきらめき(4)/クロード・モネ 静けさに満ちた画面/福岡市美術館学芸員 山本香瑞子
西日本新聞(朝刊)	H18.4.29	印象派コレクション展 5つのきらめき(5)/ポール・セザンヌ 荒々しさと繊細さと/福岡市美術館学芸員 山本香瑞子
西日本新聞(朝刊)	H18.4.29	ポーラ印象派展 入場者3万人に/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H18.4.30	印象派の表現法など 米村九大助教授講演/福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H18.5.2	文化/ポーラ美術館コレクション展に寄せて/印象派から現代絵画へ はるか遠く広がる射程/三浦 篤
西日本新聞(朝刊)	H18.5.7	「印象派」展入場者5万人を突破
西日本新聞(朝刊)	H18.5.14	ポーラ美術館展 入場7万人目は小郡市の天本さん/福岡市美術館
THE NAGASAKI ザ・ながさき No.554 (2006.3.24発行)		Art/美術館・博物館・ギャラリー/モネやルノワールら22人の画家の珠玉の名画74点と出会う展覧会
リセット福岡版 4月号 (2006.3.25発行)		STAGE・ART/ポーラ美術館の印象派コレクション展/モネ、ルノワール、セザンヌ…珠玉の作品達と出会う
MONTHLY MAGAZINE おい街 APRIL・2006 vol.338 (2006.3.28発行)		イベントアート/ポーラ美術館の印象派コレクション展/モネ、ルノワール、セザンヌ…珠玉の作品達と出会う
月刊みれにあむ大牟田 5月号		Art/ポーラ美術館の印象派コレクション展
求人情報チェックワン2006 No.544 (2006.4.14発行)		やまぐち掲示板/【美術館情報】/福岡市美術館 ポーラ美術館の印象派コレクション展
MONTHLY MAGAZINE くるめ MAY・2006 vol.329 (2006.4.28発行)		イベントアート/ポーラ美術館の印象派コレクション展/モネ、ルノワール、セザンヌ…珠玉の作品達と出会う

近代日本画の巨匠 横山大観展

西日本新聞(夕刊)	H18.7.8	彩時館／みる きく あそぶ 西日本新聞社の事業／近代日本画の巨匠 横山大観展／30日から福岡市美術館／初期から晩年名品を一堂に／神髄に触れる62件
西日本新聞(朝刊)	H18.7.25	横山大観 人と画業1／「無我」／絵にはいつも純真で／文化部 井口幸久
西日本新聞(朝刊)	H18.7.26	横山大観 人と画業2／「屈原」／天心の「無念」託して／文化部 井口幸久
西日本新聞(朝刊)	H18.7.27	横山大観 人と画業3／「流燈」／艱難を経て傑作生む／文化部 井口幸久
西日本新聞(朝刊)	H18.7.28	横山大観 人と画業4／「夜桜」／琳派思わせる華やかさ／文化部 井口幸久
西日本新聞(朝刊)	H18.7.28	西日本新聞社の主催事業／横山大観展30日-9月3日 福岡市美術館／初期から晩年までの62件
西日本新聞(朝刊)	H18.7.29	横山大観 人と画業5／「或る日の太平洋」／富士山に見た精神性／文化部 井口幸久
西日本新聞(朝刊)	H18.7.29	大作「無我」を公開／福岡市美術館 あすから横山大観展
西日本新聞(朝刊)	H18.7.31	巨匠の名作ファン魅了／横山大観展が開幕／福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H18.8.1	気流
西日本新聞(朝刊)	H18.8.3	本社の事業／「近代日本画の巨匠 横山大観展」-来月3月まで、福岡市美術館／初期-晩年の名品62件／18日から「夜桜」も展示
西日本新聞(朝刊)	H18.8.4	横山大観展1万人突破／福岡市美術館 開幕から5日目
西日本新聞(朝刊)	H18.8.5	花は桜木、山は富士、画家は大観／近代日本画の巨匠 横山大観展(9月3日まで 福岡市美術館)
西日本新聞(朝刊)	H18.8.5	「無我」展示は明日まで 横山大観展
西日本新聞(朝刊)	H18.8.7	横山大観展で作品の鑑賞会
西日本新聞(朝刊)	H18.8.9	横山大観展／東京芸大教授が13日記念講演会／福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H18.8.10	横山大観展／入場3万人目 記念品を贈呈／福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H18.8.11	横山大観展 9月3日まで福岡市美術館／揺るぎない巨匠の筆
西日本新聞(朝刊)	H18.8.13	「横山大観展」／近代日本画の巨匠の神髄に触れる回顧展／初期から晩年までの名作一堂に／9月3日(日)まで【福岡市美術館】
西日本新聞(朝刊)	H18.8.15	横山大観展を見て(1)／日本画家・千住博さん／宇宙の広がり秘め
西日本新聞(朝刊)	H18.8.17	横山大観展を見て(2)／人形師・中村信喬さん／神聖な靈気が漂う
西日本新聞(朝刊)	H18.8.18	横山大観の「夜桜」展示／さようから福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H18.8.18	横山大観展を見て(3)／俳優・米倉斉加年さん／荘厳で優しい富士
西日本新聞(朝刊)	H18.8.19	横山大観展を見て(4)／筑前琵琶総師範・中村旭園さん／人生の縮図を凝縮
西日本新聞(朝刊)	H18.8.21	横山大観展／孫の隆氏が記念講演 画風形成の歩み解説／福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H18.8.21	「横山大観展」に寄せて 柴田勝則／明治がはぐくんだ気骨と芸術／しばた・かつのり=福岡市美術館学芸員
西日本新聞(朝刊)	H18.8.22	横山大観展を見て(5)／早大教授・吉村作治さん／アジアの心と香り
西日本新聞(朝刊)	H18.8.23	横山大観展の入場者5万人に／福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H18.8.30	大観愛飲の酒いかが／福岡市美術館 あすまで振る舞う
西日本新聞(朝刊)	H18.8.31	「横山大観展」入場8万人に／福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H18.9.2	春秋

ポンペイの輝き

朝日新聞(朝刊)	H18.9.12	目玉作品の壁画クレーンで搬入／ポンペイ展
朝日新聞(朝刊)	H18.9.12	ポンペイ展 この一品／ランプ／福岡市美術館 16日開幕
朝日新聞(朝刊)	H18.9.13	ポンペイ展 この一品／葉飾りが付いた首飾り／福岡市美術館 16日開幕
朝日新聞(朝刊)	H18.9.13	ポンペイの輝き展／時空を超えた至宝／フレスコ画の奇跡「アポロ」守った地下水／大噴火で埋もれた港町 災害の脅威、生々しく
朝日新聞(朝刊)	H18.9.13	古代ローマ芸術の総覧／国立西洋美術館館長 青柳正規
朝日新聞(朝刊)	H18.9.14	ポンペイ展 この一品／金庫／福岡市美術館 16日開幕
朝日新聞(朝刊)	H18.9.15	「ポンペイ展」開幕準備整う
朝日新聞(朝刊)	H18.9.15	ポンペイ展 この一品／ヘラ像／福岡市美術館 あすから
朝日新聞(夕刊)	H18.9.16	古代ローマの「輝き」一堂に／ポンペイ展開幕
朝日新聞(朝刊)	H18.9.20	ポンペイ展 この一品／ザクロ石の指輪／福岡市美術館で開催中

朝日新聞(朝刊)	H18.9.26	ポンペイ展 この一品/詩人を表したタブロー画がある壁画/福岡市美術館で開催中
朝日新聞(朝刊)	H18.9.27	ポンペイ展 この一品/チェーンの首飾り/福岡市美術館で開催中
朝日新聞(朝刊)	H18.9.29	ポンペイ展 この一品/剣闘士の兜/福岡市美術館で開催中
朝日新聞(朝刊)	H18.9.30	入場1万人超す「ポンペイの輝き展」
朝日新聞(朝刊)	H18.10.6	ポンペイ展 この一品/魔よけのモザイク/福岡市美術館で開催中
朝日新聞(朝刊)	H18.10.8	ポンペイの輝き展/悲劇の遺産三つのナゾ/(1)被災者の行動 なぜ分かる? 火山灰そっくり保存/(2)宝飾品がなぜこんなに? 帝国の栄華と豊かさ/(3)巨大壁画のアポロは誰? 当時の皇帝ネロ説も/出土地ごとに展示構成
朝日新聞(朝刊)	H18.10.12	ポンペイ展 この一品/居酒屋の場面を表した壁画/福岡市美術館で11月5日まで
朝日新聞(朝刊)	H18.10.13	ポンペイ展 この一品/アポロ増/福岡市美術館で11月5日まで
朝日新聞(朝刊)	H18.10.15	新発見や文化 監修者が講演/ポンペイ展
西日本新聞(朝刊)	H18.10.18	ポンペイ展 この一品/信仰に関連がある事物を表した壁画/福岡市美術館で11月5日まで
朝日新聞(朝刊)	H18.10.20	ポンペイ展 この一品/鏡/福岡市美術館で11月5日まで
朝日新聞(朝刊)	H18.10.21	悲劇伝える品に感嘆/ポンペイ展に熊本から考古学同好会/「時を経て輝き残す」
朝日新聞(朝刊)	H18.10.23	ポンペイ展 この一品/トリクリニウムの壁画/福岡市美術館で11月5日まで
朝日新聞(朝刊)	H18.10.25	ポンペイ展 この一品/金とエメラルドの首飾り/福岡市美術館で11月5日まで
朝日新聞(朝刊)	H18.10.27	ポンペイ展 この一品/アマゾンの頭部/福岡市美術館で11月5日まで
朝日新聞(朝刊)	H18.10.28	ポンペイ展 この一品/外科医療の器具/福岡市美術館で11月5日まで
朝日新聞(朝刊)	H18.10.30	ポンペイ展 この一品/ブドウの葉飾りが付いた首飾り/福岡市美術館で11月5日まで
朝日新聞(朝刊)	H18.11.2	ポンペイ展 この一品/男性の胸像/福岡市美術館で11月5日まで
朝日新聞(朝刊)	H18.11.4	ポンペイ展 この一品/革袋を持つサテュロス像/福岡市美術館で11月5日まで
MONTHLY MAGAZINE おい街 SEP.2006 Vol.343 (2006.8.28発行)		イベントアート/噴火に見舞われたかつてのポンペイ その輝きを目の前にする/9/16(土)~11/5(日)「ポンペイの輝き」展
求人情報 チェックワン2006 No.554 (2006.9.1発行)		やまぐち掲示板/【美術館情報】/「ポンペイの輝き」展
THE NAGASAKI ザ・ながさきNo.566 (2006.9.8発行)		ART/ポンペイの輝き展 古代ローマ都市 ポンペイの栄光と悲劇/9/16(土)~11/5(日)/福岡市美術館
九州ウォーカー2006 no.20 (2006.9.13発行)		Art/展覧会/ポンペイの輝き展/約2000年を超えてよみがえる古代ローマ都市の栄光と悲劇をポンペイなどヴェスヴィオ山の噴火で消えた街の遺跡から学ぶ
博多のうわさ 10月号 (2006.10.1発行)		お客様横町/古代ローマ都市 ポンペイの栄光と悲劇
月刊みれにあむ 大牟田 10月号 (2006.10.1発行)		Art/芸術の秋に...美術館案内/福岡市美術館/古代ローマ都市 ポンペイの栄光と悲劇/ポンペイの輝き展~11月5日(日)まで/欧米各国で好評の展覧会が福岡へ 第一級宝物400余点を公開!

モダニズムの先駆者 生誕100年 前川國男建築展

朝日新聞(朝刊)	H18.9.23	モダニズム建築「先駆者」の輝き/福岡で前川國男展開幕
朝日新聞(夕刊)	H18.10.20	文化/美術批評! 前川國男建築展/モダニストが伝えるもの/九州大学大学院助教授 池田美奈子

第41回福岡市美術展

毎日新聞(朝刊)	H19.2.23	福岡市美術展/最高賞に内川さん(写真)/7部門に応募1372点 693点が入賞・入選
西日本新聞(朝刊)	H19.2.23	福岡市美術展 特別賞に内川さん(写真)/入賞・入選者688人、来月6日から展示
読売新聞(朝刊)	H18.2.27	特別賞に内川さん(南区)写真/佐賀 バルーンフェスタで撮影/福岡市美術展

日下部啓子コレクション インドネシア・スラウェシ島の染織 聖なる布の系譜

読売新聞(朝刊)	H18.11.2	儀礼服など一堂に/福岡市美術館 スラウェシ島染織展
朝日新聞(夕刊)	H18.11.18	偏西風/驚異の布/編集委員・福島建治
読売新聞(朝刊)	H18.11.24	スラウェシ島染織展/研究家招き魅力解説/25、26日に 福岡市美術館

Image Indonesia, Volume XIV / No. 12 December 2006	Textiles from Sulawesi. Genealogy of Sacred Cloths / Judy Achjadi
中央公論 2007年1月1日号	art / 日下部啓子コレクション インドネシア・スラウェシ島の染織 聖なる布の系譜 11月1日(水)~12月27日(水) 福岡市美術館 / 福岡市美術館 主任学芸主事 岩永悦子
Jurnal Wastra, #9, January 2007	Culture / Exhibition: Textiles from Sulawesi. Genealogy of Sacred Cloths / Judy Achjadi
Hali, Issue 151, March - May 2007	Exhibitions / Sacred Cloths / Thomas Murray
Hali, Issue 151, March - May 2007	Books / The Keiko Kusakabe Collection, Textiles from Sulawesi in Indonesia. Genealogy of Sacred Cloths / Jonathan Hope

大濠 美術館ものがたり

読売新聞(朝刊)	H19.1.15	80年前の美術展再現
毎日新聞(夕刊)	H19.1.16	ときめきアート2ヶ月だけの美術館
西日本新聞(朝刊)	H19.1.27	時代の雰囲気たっぷり／大濠 美術館ものがたり(2月18日まで福岡市美術館) / (福岡市美術館学芸員・山本香瑞子)
シティ情報ふくおか オール! 2007.1 (2006.12.25発行)		アート／大濠 美術館ものがたりー昭和2年福岡、東亜勸業博覧会開幕。／大濠にあったもう一つの美術館

結成50周年記念 シリーズ「九州派再訪-1」

読売新聞(朝刊)	H18.6.9	ベスト展／山内重太郎(美術家) / ★結成50周年記念シリーズ「九州派再訪-1」(福岡市美術館)
朝日新聞(夕刊)	H18.6.23	「格差」見つめた前衛集団 / 「九州派再訪-1」展を企画して / 山口洋三
毎日新聞(朝刊)	H18.6.24	前衛美術家集団「九州派」 / 半世紀前の熱気問う / 混沌に咲いた一瞬の花 / 破壊の衝動に身ゆだね / 渡辺亮一
読売新聞(朝刊)	H18.7.5	九州派結成50年 前期の作品並ぶ / 福岡市美術館 / 岩永芳人

こどもアートアドベンチャー

こどもたちと美術とのより良い出会いの場を提供する事を目的に、平成9年度より展開している市内小・中学校を主な対象とした教育普及活動。学校と連携し、児童・生徒が美術館を利用できる機会を増やすとともに、こどもたちがより美術に興味を持ち、深く理解できるよう、ボランティアのギャラリートークを始め、小・中学校の教員とともにワークショップなどを行っている。

市内の小・中学校等に対するギャラリートーク（スクールツアー・プログラム）

学校団体への常設展示鑑賞のサポートとして、教師との事前打ち合わせなどをもとに、ギャラリーガイドボランティアによるギャラリートークを行っている。平成18年度の学校利用は以下の通り。

スクールツアー・プログラムの利用学校

平成18年

4月28日(金) 福岡高等聾学校	生徒21人 引率17人
5月11日(木) 福岡雙葉小学校5年生	児童123人 引率6人
6月 1日(木) 赤坂幼稚園	園児49人 引率13人
9月22日(金) 香椎東小学校6年生	児童111人 引率4人
10月12日(木) 箱崎小学校4年生	児童65人 引率4人
10月27日(金) 堅粕小学校2年生	児童40人 引率3人
11月16日(木) 警固中学校2年生	生徒125人 引率7人
11月22日(水) 城南中学校1年生	生徒34人 引率2人
12月 7日(木) 東住吉中学校1年生	生徒60人 引率3人
12月12日(火) 野芥小学校5年生	児童110人 引率3人
12月15日(金) 福岡聾学校	児童3人 引率2人

平成19年

1月16日(火) 南当仁小学校5年生	児童36人
--------------------	-------

1月17日(水) 南当仁小学校5年生	児童36人
1月18日(木) 南当仁小学校5年生	児童36人
1月19日(金) 赤坂幼稚園	園児83人 引率6人
2月 6日(火) 美野島小学校6年生	児童59人 引率3人
2月 8日(木) 長住小学校5年生	児童93人 引率5人
2月 9日(金) 横手小学校5年生	児童68人
2月15日(木) 七隈小学校5年生	児童86人 引率4人
2月16日(金) 福岡市立屋形原養護学校中学部 和白東小学校5年生	生徒13人 引率13人 児童129人
2月23日(金) 原中学校1年生	生徒197人 引率10人
3月 2日(金) 席田小学校5年生	児童64人 引率2人
3月 7日(水) 玉川小学校5年生	児童96人 引率4人
3月13日(火) 南当仁小学校4年生	児童64人
3月20日(火) 南当仁小学校4年生	児童62人

中学校交流ワークショップ 中学生による常設展示ギャラリートーク

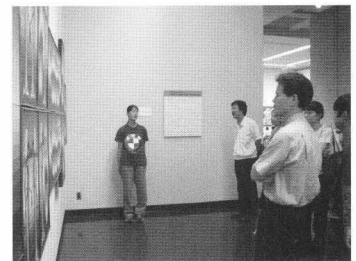
期 日：平成18年7月27日(木)、28日(金)、8月2日(水)

場 所：常設展示室

参加者数 24人(福岡市立警固中学校、同東住吉中学校、同舞鶴中学校)

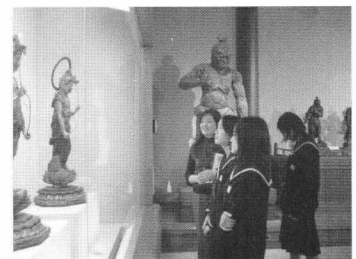
ス タ ッ フ：福岡市中学校美術教育研究会教諭(田中義徳、安岡弘喜、平尾巧基、飯干こずえ、八塚桂、中野佳裕 各氏)および当館学芸員

内 容：参加中学生が、福岡市美術館の常設展示作品を、一般の来館者に向けて紹介するというもの。いわゆるギャラリートークを行った。



中学校のための鑑賞授業のサポート

内 容：福岡市立東住吉中学校を初め、数校の市内小・中学校の鑑賞授業について来館前の事前授業の内容作成について協力を行った。



▲東住吉中学校による鑑賞授業

教科等連絡協議会への協力

小学校教科等連絡協議会

期 日：平成18年7月27日(木)

会 場：福岡市美術館 講堂

中学校教科等連絡協議会

期 日：平成18年8月2日(水)

会 場：福岡市美術館 講堂

内 容：小学校および中学校の教科等連絡協議会において、当館学芸員鬼本が、美術館における鑑賞活動について講義を行った。

夏休みこども美術館2006

こどもたちに、当館の所蔵品を知り、またそれらに親んでもらうための、展示・ワークショップ・ギャラリートークを組み合わせた複合的な教育普及プログラム。平成18年度は仏教美術の鑑賞を中心に企画を行った。

こどもギャラリー「見てみよう!神さま・仏さまのかたち」

会 期：2006年7月19日(水)～8月27日(日)
会 場：古美術企画展示室、東光院仏教美術室
出品点数：15点(古美術企画展示室)

内 容：当館所蔵の仏教彫刻を中心にこども向け展示を行った。仏像のポーズや表情、衣装などを観察しながら、その仏像がどのような性格のものか、こどもたちなりの視点で想像してもらうことを目的に、《不動明王図》(鎌倉時代)などを展示。その鑑賞の補助にこども向けのワークシートを無料配布した。



こどもワークショップ「見て!作ろう!仏さま」

日 時：平成18年7月22日(土)、8月12日(土) 午後1時～5時
講 師：浦 叡學氏
アシスタント：大川由香里、三輪恭子、楊淳婷
対 象：小学生
参加者数：44人

内 容：こどもギャラリー「見てみよう!神さま・仏さまのかたち」の仏教美術作品をより深く理解してもらうために、作品鑑賞をし、その後、それぞれが思う神様・仏様の像を粘土で制作した。



美術館探検

日 時：平成18年7月26日、8月2日、8月9日、8月16日、8月23日(全て水曜日)
いずれも1日2回、午前10時と午後1時から1時間程度
対 象：小学生
参加者数：145人
学生アシスタント：安部はるか、荒木文果、池田有子、市川靖子、岩吉真理子、上杉恵、大川由香里、大串友紀絵、加藤智子、白木美弥、砂原明子、永野美徳、平本史香、細江琴美、松原知子、森聡史、山田真理絵、楊淳婷、吉田真由美

内 容：学生アシスタントとともに美術館のバックヤードを探検しながら、こどもたちに美術館が持っている作品保存や展示の機能を知ってもらうというもの。その後、こどもギャラリーにてギャラリートークを行った。なお、バックヤードツアーには、学生アシスタントと参加したこどもたちとの親密なコミュニケーションをはかり、その後のギャラリートークをより効果的にするという意味もある。



こども向けギャラリートーク

期 間：平成18年7月19日(水)～8月27日(日)の休館日をのぞく毎日
時 間：午後2時30分より40分程度
参加者数：191人

内 容：当館ギャラリーガイドボランティアによるトーク。こどもギャラリー以外の作品を3点、対話型のトークで紹介した。なお、こどもだけでなく、大人の参加も可とした。



講座

つくって!わかる?アート講座vol.2

「場所を聴く～音のアートを体験しよう!～」

日 時：平成18年12月2日(土) 午後1時～4時

講 師：藤枝 守氏(作曲家、九州大学教授)

参加者数：24人

内 容：「音のアート」を取り上げたが、「音を出す」のではなく、「音を聴く」というものであった。耳を澄ませて、他人の呼吸、さらには自分の呼吸や心音を意識して聴く事で、私たちが、実は「音」に囲まれている事に気付くというもの。このような「音」への気付きが創造へとつながることを、この講座では体感した。



第9回所蔵品によるアートセミナー

「吉村忠夫－典雅なる近代大和絵の軌跡」

日 時：平成19年3月10日(土)、3月17日(土)、3月24日(土) (全3回)

いずれも午後1時30分～3時

講 師：魚里洋一氏(福岡県立美術館学芸員)

参加者数：3月10日 24人 3月17日 15人 3月24日 15人

内 容：当館の所蔵品を、外部講師を招き、じっくり鑑賞するアート講座。今回は当館常設展示でおなじみの郷土作家吉村忠夫作品を鑑賞することとした。また、福岡県立美術館でも同時期に吉村忠夫の作品を展示しており、3月24日には、福岡県立美術館で作品鑑賞を行った。



開館記念事業

図録フェア

日 時：平成18年11月3日(金・祝) 午前10時～午後5時

会 場：2階ロビー

内 容：平成17年度までに当館で開催された展覧会図録で在庫のあるものを定価の2～5割引で販売した。

博物館実習

学芸員資格取得のための博物館実習を行い、下記の8名の実習生を受け入れた。実習期間は5月8日から11月30日までで、それぞれ2週間(10日間)であった。

■佐賀大学 1名

大石はる 文化教育学部美術・工芸課程 3年

■崇城大学 1名

中村英人 芸術学部美術学科 彫刻コース 4年

■福岡教育大学 1名

吉村春香 生涯スポーツ芸術課程 芸術コース 書美領域 4年

■福岡大学 1名

野田沙織 人文学部文化学科 4年

■西南学院大学 2名

宮田智史 国際文化学部国際文化学科 4年

城崎美香 商学部商学科 4年

■筑紫女学園大学 1名

日高祐紀 文学部アジア文化学科 4年

■久留米大学 1名

村井太郎 文学部国際文化学科 4年

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行なわれており、美術館でも本年度6校を受入れて、常設展示の受付、監視等の体験学習を行なった。

平成18年 6月13日(火)	北九州市立高須中学校	6名
平成18年 6月21日(水)	筑前町立三輪中学校	1名
平成18年 6月27日(火)	福岡市立城南中学校	1名
平成18年 9月20日(水)	福岡市立片江中学校	3名
平成18年 10月25日(水)	福岡市立城香中学校	1名
平成18年 10月27日(金)	福岡市立友泉中学校	5名

読書室企画

読書室の一角に当館開催の展覧会等に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、資料を通しての普及啓蒙活動を行う。

■常設展関連図書特集

常設展示室での各展示に関連した図書を集集。

■特別展関連図書特集

- ・平成18年3月28日(火)―5月14日(日)「ポーラ美術館の印象派コレクション展」関連
- ・平成18年7月25日(火)―9月3日(日)「横山大観展」関連
- ・平成18年9月12日(火)―11月5日(日)「ポンペイの輝き」関連
- ・平成18年9月20日(水)―11月5日(日)「生誕100年 前川國男建築展」関連

■読書室企画図書特集

夏休みこどもとしゃかん

「よんでみよう!みてみよう! 神さま・仏さまの世界」

会 期：平成18年7月19日(水)―8月27日(日)

内 容：夏休みこども美術館2006こどもギャラリー「見てみよう!神さま・仏さまのかたち」展の開催に関連して、美術について興味を持ち、理解を深めてもらえるよう、美術の歴史や美術作品の鑑賞のヒントが書かれている児童書やこどもたちにとって比較的身近な存在である絵本など46冊を集集した。ここで特集した本のリストは同展のワークシートの巻末に記載した。



ボランティア活動

■ ボランティアについて

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。新聞スクラップから始まったボランティア活動は、現在では大きくギャラリーガイドボランティアと美術情報ボランティアの二つのセクションに分かれ、「美術館の活動を支援し、且つ、自らのスキルを社会に還元すること」を目標に、美術館の活動を支える重要な柱の一つとなっている。なお、美術情報ボランティアは、さらに新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアと分かれる。

■ ボランティアメッセへの参加

期 日：平成18年9月23日(土)、24日(日)
場 所：九州国立博物館

内 容：九州国立博物館にて開催された、ボランティアによるボランティアのためのお祭り「ボランティアメッセ」に参加。これは、さまざまな美術館・博物館のボランティアが、パネルや実演などにより、自らの活動を紹介するというものである。当館ボランティアについては、4つのグループがそれぞれの活動を紹介します。パネルを制作した。



■ ボランティア総会

各ボランティアの活動を報告するために、ボランティア総会を開催している。平成18年度は、2回開催した。

期日：平成18年8月1日(火)、平成19年2月21日(水)
場所：福岡市美術館 講堂

■ 各ボランティアの活動

ギャラリーガイドボランティア

平成18年度の登録人数：50人

昭和60年に、当時乗り入れていた定期観光バスの乗客のための解説が活動の始まりであった。現在は、来館者と展示(作品)を、「話し」を通してつなぎ、「見る」きっかけづくりを目的に、毎日の常設ギャラリーツアーをはじめ、学校向けの活動などを行っている。基本的に休館日を除く毎日、曜日ごとにグループに分かれて活動を行っている。

・常設ギャラリーツアー

開館日に午前11時からと午後2時から常設ギャラリーツアーを行っている。ボランティア自身が決めたテーマにそって、常設展示の作品を40分間で3点、参加者との対話を通して紹介する。

参加者：のべ67人

・団体向けツアー

常設ギャラリーツアーとは別に、申し込みがあれば団体向けのツアーも行っている。参加団体は下記の通り。なお、市内の学校団体向けのツアーについては、「こどもアートアドベンチャー」の項目(p.20)を参照のこと。

平成18年

5月25日(木) 福島県立博物館友の会	60人
5月27日(土) 与論中学校	生徒48人 引率6人
6月14日(水) 基山町社会福祉協議会	約40人
6月15日(木) 基山町社会福祉協議会	約40人
8月 6日(日) 青空の里(デイサービス)	10~15人
8月13日(日) 青空の里(デイサービス)	10~15人
介護老人保健施設 木の葉の里	15~16人
8月20日(日) 青空の里(デイサービス)	10~15人
8月22日(火) 朝倉小学校教育研究会図工作部	12人
8月27日(日) 青空の里(デイサービス)	10~15人
日田市光岡公民館	小・中学生27人 引率2人
10月 1日(日) 下関市役所下水道部	29人
10月 3日(火) 東区青葉3丁目ふれあいサロン(おしゃべり喫茶)	36人
10月 6日(金) 唐津市名護屋小学校5年生	児童33人 引率3人

10月15日(日) 長崎純心大学	学生44人 引率1人
11月 7日(火) 福井県立美術館友の会	38人
11月15日(水) 鳥栖市保育協議会	20人
11月23日(木) 徳島大学大学開放実践センター	10人
11月25日(土) 福岡YMCA専門学校保育福祉課	学生6人 引率1人

平成19年

1月31日(水) 柳川市立豊原小学校	児童35人 引率2人
2月10日(土) 熊本県立大津高校	47人
2月22日(木) リンデンホール小学校2年生	児童30人 引率5人
2月28日(水) 嘉麻市文化協会碓井支部	50人
3月 9日(金) 宇美町立宇美小学校5年生	児童62人 引率2人
3月17日(土) 立花町教育委員会	児童5人
春休み冒険王『ぐるぐる探検隊!』	

・研修旅行

作品の案内などの技術向上と、ボランティアに関するさまざまな情報交換のために、他館のギャラリーガイドボランティアの活動を見学、またそのボランティアとの交流をおこなう研修旅行を実施した。今回は、九州国立博物館におもむき、見学・交流を行った。

期日：平成18年5月20日(土)

場所：九州国立博物館



▲ボランティア交流会

・新規ギャラリーガイドボランティアの募集

学校団体の来館が増える事が予想されたため、急遽ギャラリーガイドボランティアの募集を行った。

募集期間：平成19年2月1日(木)～2月28日(水)

面接日：平成19年3月16日(金)、17日(土)、18日(日)

応募人数：50人

採用人数：25人

新聞情報ボランティア

平成18年度の登録人数：35人

・活動日

基本的に日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜き及びファイル作業などを行う。

月曜日：毎日新聞、火曜日：読売新聞、水曜日：西日本新聞、木曜日：朝日新聞、土曜日：日本経済新聞

・活動内容

月に2回共同作業日(原則毎月10日前後と月末の金曜日)を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。平成14年度から始めた、新聞切り抜きのなかから特に興味深い記事をピックアップしてまとめる「おすすめ新聞美術記事」を、今年度も月1回(ただし5月は休止)作成した(第46号～第56号)。

平成18年

4月10日(月)共同作業 過去の記事台紙貼り(参加9名)
4月18日(火)火曜班「おすすめ新聞美術記事」第46号作成
4月28日(金)共同作業 訃報記事データベース化作業研修
5月10日(水)共同作業 1979～81年当館関連記事の整理(参加8名)
5月26日(金)共同作業 訃報記事入力内容のチェック(参加9名)
6月9日(金)共同作業 1985、86年の記事台紙貼り(参加5名)
6月21日(水)水曜班「おすすめ新聞美術記事」第47号作成
6月30日(金)共同作業 訃報記事データベース化作業研修(参加10名)
7月10日(月)共同作業 1984年の記事台紙貼り(参加2名)
7月20日(木)木曜班「おすすめ新聞美術記事」第48号作成
7月28日(金)共同作業 訃報記事台紙貼り(参加6名)
8月10日(木)共同作業 完成したファイルのチェック(参加3名)
8月19日(土)土曜班「おすすめ新聞美術記事」第49号作成
8月21日(月)共同作業 訃報記事データベース化作業研修(参加7名)
8月25日(火)共同作業 ボランティア・メッセのポスター作成準備(参加6名)
9月9日(土)共同作業 ボランティア・メッセのポスター作成(参加6名)
9月25日(水)月曜班「おすすめ新聞美術記事」第50号作成
9月29日(金)共同作業 1984、85年の記事切り抜き、台紙貼り(参加4名)

10月10日(火)共同作業 訃報記事整理(参加8名)
10月24日(火)火曜班「おすすめ新聞美術記事」第51号作成
10月27日(金)共同作業 訃報記事整理(参加1名)
11月11日(土)共同作業 1979、80年当館記事整理(参加4名)
11月22日(水)水曜班「おすすめ新聞美術記事」第52号作成
11月24日(金)共同作業 一般美術記事ファイル作成・読書室配架(参加2名)
12月8日(金)共同作業 1983、84年の記事整理(参加1名)
12月14日(木)木曜班「おすすめ新聞美術記事」第53号作成
12月22日(金)共同作業 訃報記事、2006年当館記事ファイル(参加5名)

平成19年

1月10日(水)共同作業 新年ミーティング(参加17名)
1月13日(土)土曜班「おすすめ新聞美術記事」第54号作成
1月26日(金)共同作業 訃報記事整理(参加7名)
2月9日(金)共同作業 1月一般記事整理(参加2名)
2月19日(月)月曜班「おすすめ新聞美術記事」第55号作成
2月23日(金)共同作業 訃報記事整理(参加1名)
3月9日(金)共同作業 1980～86年の記事チェック(参加3名)
3月20日(火)火曜班「おすすめ新聞美術記事」第56号作成

・活動日

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行う。

・活動内容

○分類ラベル作成および添付作業

・図書資料用の分類ラベルに該当する分類を記入し、資料に添付する。

○目録カード整理作業

・目録カードに標目を記載する。

・分類変更分の各目録カードに分類番号と図書記号を書き込む。

・目録カードをコピーする。

○パンフレット資料整理作業

・作家や美術館・博物館に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。

○広報誌整理作業

・他機関発行の広報誌を綴じる作業および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

○情報誌整理作業

・タウン情報誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。

○雑誌掲載記事索引ファイルの再作成作業

・福岡市美術館の所蔵品、施設に関する雑誌掲載記事索引ファイルを再作成する。

○クリッピングファイル整理

・資料内容をファイルに表示する。

○紀要・年報類の受入作業

・ラベルに該当する機関コードを記入し、資料に添付する。

○原簿内容変更作業

・原簿の記載内容をチェックし変更する。

○掲載作家名パソコン入力

・図録に掲載されている作家名をパソコンに入力する。

美術家情報整理ボランティア

・活動日

火曜日～木曜日 各曜日で午前と午後に分かれて作業を行う。また、月に1回共同作業日を設け、展覧会案内ハガキを保存する封筒の大きさの切り替えを行っている。

・活動内容

美術館に郵送されてくるDMを分類し、データベースに入力。入力と校正の済んだハガキはカード資料室に整理して保管。ハガキを収納する封筒の大きさの変更などの作業を行っている。平成18年4月から平成19年3月末までに2,016件のDMデータを入力した。また、DMデータベースの入力マニュアルの作成に着手した。9月にはボランティアメッセに参加、活動紹介パネルを作成して展示した。

出版物

■ 展覧会図録

名称	規格	頁数	編集・発行
近代日本画の巨匠 横山大観展	A4変形	193	福岡市美術館編集・福岡市美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送発行
日下部啓子コレクション インドネシア・スラウェシ島の染織 聖なる布の系譜	A4変形	135	福岡市美術館編集・発行
大濑 美術館ものがたり	A4変形	48	福岡市美術館編集・発行
第41回 福岡市美術展	A4変形	48	福岡市美術展運営委員会編集・発行

■ 常設展リーフレット

常設企画展リーフレット

展覧会名	規格	頁数	発行日
大濑 美術館ものがたり	A4	4	平成19年1月5日

企画展示室リーフレット

展覧会名	規格	頁数	発行日
結成50周年記念 シリーズ「九州派再訪-1」	A4	6	平成18年5月23日

小作品室リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	発行日
249	ベルナルド・ピュッフェ展(西本コレクション)	A4	4	平成18年4月4日
250	片山雅史展-「風」のシリーズより	A4	4	平成18年5月23日
251	恩地孝四郎の版画・素描・フォトグラム	A4	4	平成18年7月11日
252	ヤセ犬の軌跡-藤浩志の素描・水彩	A4	4	平成18年8月29日
253	伊奈英次展-都市のメカニズムを撮る	A4	4	平成18年10月31日
254	カール・コーラップ展(西本コレクション)	A4	4	平成19年2月20日
255	小さな絵画-西本コレクションから	A4	4	平成19年3月27日

古美術リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
171	田中丸コレクション 唐津と高取	A4	4	古美術企画展示室	平成18年5月30日
172	茶道具の四季	A4	4	松永記念館室	平成18年5月30日
173	東西の出土文物	A4	4	松永記念館室	平成18年8月29日
174	わたしの仙厓	A4	4	古美術企画展示室	平成19年1月5日
175	遠州と茶	A4	4	松永記念館室	平成19年2月20日
176	本多コレクション タイの陶磁	A4	4	古美術企画展示室	平成19年2月20日
177	新収蔵品展	A4	8	古美術企画展示室	平成19年3月27日

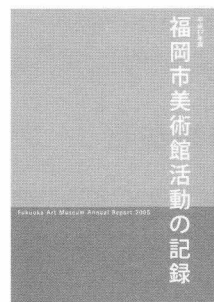
■ 夏休みこども美術館 こどもギャラリーワークシート

名称	規格	頁数	発行日
夏休みこども美術館2006こどもギャラリー 見てみよう!神さま・仏さまのかたち	A4	8	平成18年7月19日



■福岡市美術館活動の記録

名称	規格	頁数	発行日
平成17年度 福岡市美術館活動の記録	A4	61	平成19年3月30日



■美術館ニュース エスプラナード

No.	発行日	内容	規格	頁数
143	平成18年4月1日	ポーラ美術館の印象派コレクション展／平成18年度 福岡市美術館 年間スケジュール／常設展より 1 春の名品展より／常設展より2 結成50周年記念 シリーズ「九州派再訪-1」／美術館とコレクション 新シリーズよせて／所蔵品紹介 近現代美術 No.258 魚族の怒り 田部光子／福岡市美術館 展覧会スケジュール(4月～6月)／他館展覧会案内／平成18年度 教育普及プログラム／平成18年度 読書室企画／サルヴァドール・ダリ《ポルト・リガトの聖母》貸し出しのお知らせ／編集後記	A4	12
144	平成18年7月1日	近代日本画の巨匠 横山大観展／古代ローマ都市 ポンペイの栄光と悲劇 ポンペイの輝き／常設展示より1 世界・日本・九州の美術:20世紀から21世紀へ／常設展示より2 夏休み子ども美術館 2006子どもギャラリー「見てみよう神さま・仏さまのかたち」／福岡市美術館のコレクション1 選びぬかれた日本・中国の美術 森山コレクション／所蔵品紹介 近現代美術 No.259 ペニス 吉田ふじを／福岡市美術館展覧会スケジュール(7月～9月)／他館展覧会案内／美術館からのお知らせ／お詫び／編集後記	A4	12
145	平成18年10月1日	モダニズムの先駆者 生誕100年 前川國男建築展／日下部啓子コレクション インドネシア・スラウ エシ島の染織 聖なる布の系譜／常設展示より 秋の名品展より／所蔵品紹介 古美術 No.260 紫式部図 土佐光起／福岡市美術館のコレクション2 芸術への憧れが育んだ企業人のコレクション 太田コレクション／教育普及報告 夏休みに美術館で起こったこと 中学生によるギャラリートーク／福岡市美術館展覧会スケジュール(10月～12月)／他館展覧会案内／美術館からのお知らせ／編集後記／お知らせ	A4	12
146	平成19年1月1日	大濠 美術館ものがたり／教育普及レポート 学校との連携／常設展示より1 吉村忠夫展／常設展示より2 わたしの仙厓／福岡市美術館のコレクション 世界に誇る 東南アジア古陶磁の集結 本多コレクション／所蔵品紹介 近現代美術 No.260 WEB(ウェブ) 大竹伸朗／福岡市美術館展覧会スケジュール(1月～3月)／他館展覧会案内／美術館からのお知らせ／編集後記	A4	12



エスプラナード143～146号▶

美術資料

■美術資料収集件数一覧

近現代美術			古美術			総計
購入	寄贈	合計	購入	寄贈	合計	
35件	52件	87件	2件	11件	13件	100件

■近現代美術

購入

郷土作家 油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
1-A-536	片山雅史	皮膜2004—密色の奥底に	2003	(各) 243.5×90.5 (10点組)	アクリル、顔料・画布	56000020
1-A-546	磨墨静量	題不詳	1960年代	32.0×41.0	油彩・板	56000023

郷土作家 日本画等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
1-B-200	小早川 清	朝顔につるべとられて	1930年代	121.9×35.6	絹本着色	56000021
1-B-203	松尾晃華	相市花の木陰	1933	203.8×190.0	絹本着色	56000022

日本作家 油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-A-147	中村一美	採桑老 104	2001	344.5×301.1	アクリル・画布(板貼り付け)	56000017
2-A-148	松谷武判	繁殖65-25	1965	183.8×137.8	ビニール接着剤、水性塗料 ・画布(板貼り付け)	56000018

日本作家 写真

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-F-406	金村 修	Today's Japan(1)	1995-2004	48.0×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-407	金村 修	Today's Japan(2)	1995-2004	47.9×57.6	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-408	金村 修	Today's Japan(3)	1995-2004	47.9×57.6	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-409	金村 修	Today's Japan(4)	1995-2004	48.0×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-410	金村 修	Today's Japan(5)	1995-2004	47.9×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-411	金村 修	Today's Japan(6)	1995-2004	47.9×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-412	金村 修	Keihin Machine Soul(1)	1996-2004	48.0×57.6	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-413	金村 修	Keihin Machine Soul(2)	1996-2004	47.9×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-414	金村 修	Keihin Machine Soul(3)	1996-2004	48.0×57.6	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-415	金村 修	Muscle Tokyo Express	1998-2004	47.8×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-416	金村 修	All the Needles on are Red	1998-2004	48.0×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-417	金村 修	Someday OK Prince will Come	1999-2004	47.8×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-418	金村 修	Black Parachute Ears	1999-2004	47.8×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-419	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(1)	2003-2004	47.8×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-420	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(2)	2003-2004	47.8×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-421	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(3)	2003-2004	48.0×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-422	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(4)	2003-2004	47.9×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-423	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(5)	2003-2004	47.8×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-424	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(6)	2003-2004	47.9×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-425	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(7)	2003-2004	48.0×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-426	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(8)	2003-2004	48.0×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-427	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(9)	2003-2004	47.9×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-428	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(10)	2003-2004	47.8×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-429	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(11)	2003-2004	48.0×57.4	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-430	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(12)	2003-2004	47.9×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-431	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(13)	2003-2004	48.0×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-F-432	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(14)	2003-2004	47.9×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019
2-F-433	金村 修	CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(15)	2003-2004	47.8×57.7	ゼラチンシルバープリント・紙	56000019

海外作家 彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
3-G-81	李 禹煥	関係項	2004 (原作は1968)	81.5×270.0×240.0	石、ガラス、鉄	56000016

寄 贈

郷土作家 油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
1-A-563	秋吉資夫	能古にひろう	1971	100.3×72.6	油彩・画布	56015757
1-A-564	秋吉資夫	休耕田	1992	100.5×64.7	油彩・画布	56015758
1-A-565	秋吉資夫	水辺の詩	2004	162.0×130.0	油彩・画布	56015759
1-A-566	今泉憲治	Elephant Accident '85 B	1985	145.5×122.5	エッグテンペラ、アクリル、石膏・画布 (板貼り付け)	56015760
1-A-567	今泉憲治	Elephant Accident '85-The Rear	1985	227.3×181.3	エッグテンペラ、アクリル、石膏・画布 (板貼り付け)	56015761
1-A-568	今泉憲治	EA 01	2001	(右)133.0×146.0×14.0 (左)112.0×146.0×14.0	アクリル、綿、麻布・画布	56015762
1-A-569	太田嘉兵衛	[風景]	不詳	75.0×90.7	油彩・画布	56015763
1-A-570	太田嘉兵衛	[風景(紅葉)]	不詳	52.8×64.8	油彩・画布	56015764
1-A-571	鬼木美代子	[コラージュ]	2003頃	30.2×30.0	鉛筆、水彩、クレヨン、紙(コラージュ)・紙	56015765
1-A-572	東郷青児	木立	1961	151.5×333.5	油彩・画布	56015769
1-A-573	光安浩行	初夏	1937	181.0×227.0	油彩・画布	56015775

郷土作家 日本画等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
1-B-212	木原 信	寒霞溪雪霽	不詳	176.5×94.5	紙本墨画、金彩	56015766
1-B-213	木原 信	梅林寺	不詳	96.0×101.6	紙本着色	56015767
1-B-214	木原 信	葵上(夜叉)	不詳	90.2×68.3	紙本着色	56015768
1-B-215	富田溪仙	童子	明治後期	145.0×71.0	絹本着色	56015772
1-B-216	富田溪仙	牛	1904頃	128.8×61.6	紙本墨画	56015770
1-B-217	富田溪仙	[子守]	1904頃	69.0×30.9	紙本墨画、淡彩	56015802
1-B-218	富田溪仙	台湾打狗所見	1909	30.7×67.5	紙本墨画	56015771
1-B-219	富田溪仙	これ食て茶のめ	不詳	35.9×52.4	紙本墨画	56015773

郷土作家 素描

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
1-C-257	山村秀一	清滝	1952	38.5×30.3	水彩・紙	56015776
1-C-258	山村秀一	[花]	不詳	44.2×52.7	水彩・紙	56015777
1-C-259	山村秀一	[花(バラ)]	不詳	45.5×38.4	水彩・紙	56015778
1-C-260	山村秀一	[紫陽花]	不詳	54.0×38.2	水彩・紙	56015779
1-C-261	山村秀一	[紫陽花]	不詳	51.5×38.2	水彩・紙	56015780
1-C-262	山村秀一	[港]	不詳	56.1×77.2	水彩・紙	56015789
1-C-263	山村秀一	[魚]	不詳	75.8×56.7	水彩・紙	56015790
1-C-264	山村秀一	[軒先風景]	不詳	56.0×74.8	水彩・紙	56015791
1-C-265	山村秀一	[山村風景]	不詳	56.4×75.3	水彩・紙	56015792
1-C-266	山村秀一	[紫陽花]	不詳	57.2×77.9	水彩・紙	56015793
1-C-267	山村秀一	[筍]	不詳	82.2×57.5	水彩・紙	56015794

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
1-C-268	山村秀一	[魚]	不詳	74.8×55.5	水彩・紙	56015795
1-C-269	山村秀一	[船溜まり]	不詳	56.5×76.7	水彩・紙	56015796
1-C-270	山村秀一	[雉]	不詳	50.0×65.7	水彩・紙	56015797
1-C-271	山村秀一	[舟のある風景]	不詳	50.3×65.8	水彩・紙	56015798
1-C-272	山村秀一	[果物]	不詳	50.0×65.5	水彩・紙	56015799
1-C-273	山村秀一	[紫陽花]	不詳	45.8×53.2	水彩・紙	56015800
1-C-274	山村秀一	[静物]	不詳	21.5×28.3	水彩・紙	56015781
1-C-275	山村秀一	[風景]	不詳	21.5×28.3	水彩・紙	56015783
1-C-276	山村秀一	[静物]	不詳	21.4×26.6	水彩・紙	56015784
1-C-277	山村秀一	[風景]	不詳	19.6×26.6	水彩・紙	56015785
1-C-278	山村秀一	[静物]	不詳	20.4×28.2	水彩・紙	56015786
1-C-279	山村秀一	[壺]	不詳	20.4×28.2	水彩・紙	56015787
1-C-280	山村秀一	[神社]	不詳	25.2×43.7	水彩・紙	56015788
1-C-281	山村秀一	[花]	不詳	39.3×47.0	水彩・紙	56015801

郷土作家 版画

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
1-E-920	川原田 徹	Arbor-Sol(太陽樹)の地	1978	36.0×29.4	エッチング・紙	56015735
1-E-921	川原田 徹	塔	1980	39.3×28.7	エッチング・紙	56015736
1-E-922	川原田 徹	風力発電装置つき水上かぼちゃ浄土	1980	39.1×35.6	エッチング・紙	56015737
1-E-923	川原田 徹	貧乏人のかぼちゃ浄土	1983	39.3×35.6	エッチング・紙	56015738

郷土作家 彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
1-G-60	藤野忠利	大漁のし	2002	150.0×84.0×8.0	羽織、旗、綿	56015774

日本作家 油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-A-153	堀尾貞治	空気円	1967	205.7×90.5	布、針金	56015755

日本作家 彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-G-38	堀尾貞治	四角連動	1967	356.0×115.0×40.0	石膏、糸、布、針金	56015815

西本コレクション 油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
16-A-167	黒崎 彰	しるし曼荼羅	1987	153.0×213.0	木版、墨、柿渋、シンコレ・手漉き紙	56015754



▲金村 修《CHERRY BLOSSOM BARBECUE MIND(7)》
2003-2004年

▲光安浩行《初夏》1937年

■ 古美術

購入

一般古美術資料 漆工

所蔵品番号	作品名	制作年	法量 (cm)	品質	備品受入番号
14-Hb-44	苑遊人物堆朱盒子	明時代	径22.3 高10.2 高台径17.1	木胎彫漆	56000014

一般古美術資料 染織

所蔵品番号	作品名	産地	制作年	法量 (cm)	品質	備品受入番号
14-Hd-293	円花文経緯緋	インド	19世紀	経530 緯122	絹	56000015

寄贈

一般古美術資料 絵画

所蔵品番号	作品名	作者名	制作年	法量 (cm)	品質	備品受入番号
14-B-39	松梅図	土佐光貞	江戸時代	(各)縦85.4 横26.3	絹本着色	56015742
14-B-40	山中人物図	岸岱	江戸時代	縦95.8 横35.5	絹本着色	56015743
14-B-41	大織冠図屏風		江戸時代	縦93.8 横39.0(一扇)	紙本着色	56015744
14-B-42	平家物語図	土佐光孚	江戸時代	縦109.2 横41.2	絹本着色	56015745
14-B-43	花鳥人物図貼交屏風	狩野探信	江戸時代	縦121.9 横50.9(一扇)	紙本着色	56015746

一般古美術資料 漆工

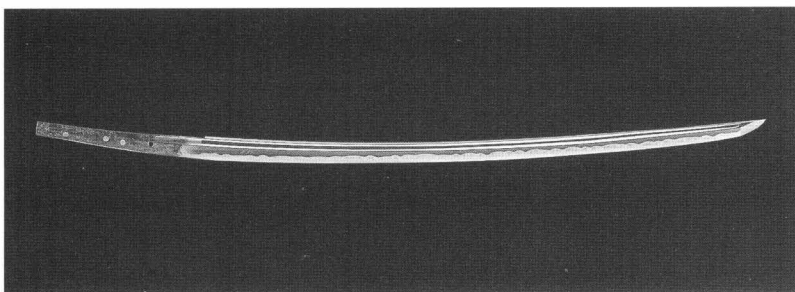
所蔵品番号	作品名	制作年	法量 (cm)	品質	備品受入番号
14-Hb-47	黒漆樹下人物文螺鈿太刀掛	19世紀	高66.3	木胎漆塗	56015752

一般古美術資料 金工

所蔵品番号	作品名	制作年	法量 (cm)	品質	備品受入番号
14-Hc-7	双龍図透かし鐺	江戸時代後期	縦長7.3 厚0.5	鉄	56015751

一般古美術資料 刀剣

所蔵品番号	作品名	作者名	制作年	法量 (cm)	品質	備品受入番号
14-He-11	太刀	長船則光	文安六年	刀長67.5 反り1.7	鉄	56015747
14-He-12	脇差	左	南北朝～室町	刀長50.9 反り1.8	鉄	56015748
14-He-13	短刀		慶長～元和期	刀長29.9 反り0.9	鉄	56015749
14-He-14	脇差		慶長～元和期	刀長38.1 反り1.0	鉄	56015750



▲長船則光作 太刀 文安六年



▲苑遊人物堆朱盒子 明時代

図書・映像資料

図書関係受入状況

		和書	洋書
購入	図書	153	23
	図録	2	7
	年報・紀要	1	0
	合計	156	30
寄贈	図書	56	8
	図録	583	40
	年報・紀要	272	2
	製本資料	0	0
合計	911	50	
総計		1,491	304

単位(冊)

ビデオ関係受入状況

		点
購入	ビデオ	0
	レーザーディスク	0
	コンパクトディスク	0
	DVD	0
寄贈	マイクロフィルム	0
	ビデオ	1
	レーザーディスク	0
	コンパクトディスク	4
合計		11

単位(点)

美術資料の修復・貸出

美術資料の修復

■ 近現代美術

種別	作品名	作家名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	数量	所蔵品番号
油彩	海老原喜之助	花ぬす人	1965	97.2×130.6	油彩・画布	1点	1-A-257
油彩	大内田茂士	静物	1942	91.0×73.0	油彩・画布	1点	1-A-270
日本画	吉村忠夫	播磨の娘子	不詳	81.7×99.0	絹本着色	1幅	1-B-85

■ 古美術

種別	作品名	作者名	制作年	寸法 (cm)	品質	数量	所蔵品番号
絵画	寿老図	雪舟	室町時代	縦 107.7 横 43.6	紙本墨画	1幅	4-B-5
染織	赤地蓮華文錦幡		鎌倉時代	長 253.0 幅 41.5	絹製・錦織	1旒	6-Hd-3
絵画	太宰府天神図	仙厓義梵	江戸時代	縦 110.6 横 56.0	紙本墨画	1幅	9-B-35
漆工	唐子遊堆朱柑子口瓶		清時代末期	高49.0 最大径29.8 高台径15.9	木胎彫漆	1口	14-Hb-46
刀剣	刀	藤原壽命	江戸時代前期	総長94.0 刀長72.5 反り0.5	鉄	1口	14-He-10

美術資料の貸出

■ 近現代美術

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
油彩	須田国太郎	水浴	2-A-32	須田国太郎展	京都国立近代美術館 東京国立近代美術館 福島県立美術館	平成17年11月1日-12月18日 平成18年1月13日-3月5日 平成18年4月8日-5月14日
油彩	高島野十郎	早春池畔	1-A-280	没後30年記念 高島野十郎展	福岡県立美術館	平成17年12月2日-平成18年1月15日
油彩	高島野十郎	寧楽の春	1-A-281		三鷹市美術ギャラリー	平成18年6月10日-7月17日
油彩	宇治山哲平	想	1-A-27	宇治山哲平展	東京都庭園美術館	平成18年2月4日-4月9日
油彩	宇治山哲平	王朝	1-A-28	一絵に遊び、絵に憩う		
油彩	宇治山哲平	華嚴 No.17	1-A-308			
油彩	宇治山哲平	白華	1-A-309			
版画	宇治山哲平	初冬(『九州版画』3所収)	1-E-719			
版画	宇治山哲平	土管と材木(『九州版画』7所収)	1-E-740			
版画	宇治山哲平	万年山(『九州版画』9所収)	1-E-758			
油彩	サルヴァドール・ダリ	ポルト・リガトの聖母	3-A-405	サルヴァドール・ダリ :ペルピニャン展	ルードヴィヒ美術館(ドイツ)	平成18年3月18日-6月25日
日本画	小早川 清	旗亭涼宵	1-B-79	生誕100年記念	渋谷区立松濤美術館	平成18年4月5日-5月14日
日本画	伊東深水	春雪	2-B-16	台湾の女性日本画家 陳進展	兵庫県立美術館	平成18年6月3日-7月23日
日本画	上村松園	円窓美人	2-B-17	1907-1998	福岡アジア美術館	平成18年7月30日-9月10日
日本画	鍋木清方	美人図	2-B-33		(貸出は福岡展のみ)	
版画	伊東深水	潮干狩	2-E-345			
版画	伊東深水	蛸狩	2-E-347			
版画	伊東深水	十五夜	2-E-348			
版画	伊東深水	炬燵	2-E-350			
版画	伊東深水	花火	2-E-351			
版画	伊東深水	吹雪	2-E-353			
油彩	田淵安一	夜すぎる II	1-A-201	田淵安一 一かたちの始まり、あふれる光一	神奈川県立近代美術館 葉山	平成18年4月8日-5月21日
版画	野田哲也	日記 1978年3月31日	1-E-316	内なるこども 一The Child一	豊田市美術館	平成18年4月14日-6月18日
版画	野田哲也	日記 1979年8月2日	1-E-318			
版画	ケーテ・コルヴィッツ	戦場(農民戦争-6)	16-E-327			
版画	ケーテ・コルヴィッツ	死と女とこども	16-E-328			
油彩	坂本繁二郎	大島の一部	1-A-43	石橋美術館開館50周年記念	石橋美術館	平成18年4月27日-6月4日
油彩	坂本繁二郎	鮭	1-A-44	坂本繁二郎展	ブリヂストン美術館	平成18年6月16日-7月8日

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
油彩	大内田茂士	湘南風景	1-A-273	大内田茂士展 ー白のリズムー	北九州市立美術館	平成18年5月3日ー6月4日
油彩	大内田茂士	山湖	1-A-274			
油彩	大内田茂士	椿路	1-A-275			
油彩	大内田茂士	卓上	1-A-276			
油彩	大内田茂士	室内の一隅	1-A-277			
油彩	大内田茂士	初秋卓上	1-A-278			
油彩	マルク・シャガール	空飛ぶアトラージュ	3-A-87	シャガール『アレコ』とアメリカ 亡命時代ー	青森県立美術館	平成18年7月13日ー9月24日
油彩	黒田重太郎	茨の径	7-A-17	巴里憧憬 エコール・ド・パリと日本の 画家たち	徳島県立近代美術館 山梨県立美術館 成羽町美術館 名古屋市美術館 埼玉県立近代美術館	平成18年7月15日ー8月20日 平成18年8月26日ー10月1日 平成18年10月7日ー11月12日 平成18年11月18日ー12月24日 平成19年1月6日ー2月12日
油彩	織田廣喜	黒装	1-A-172	織田廣喜の叙情的で 優美な世界	嘉麻市立織田廣喜美術館	平成18年7月22日ー8月27日
油彩	安井曾太郎	孟宗菽	7-A-49	浅井忠と関西美術院展	府中市美術館 京都市美術館	平成18年8月26日ー10月9日 平成18年10月17日ー12月3日
素描	安井曾太郎	題不詳	2-D-7	素描する人々	目黒区美術館	平成18年10月14日ー12月3日
素描	安井曾太郎	題不詳	2-D-9	ー或る日の洋畫研究所		
素描	安井曾太郎	題不詳	2-D-10			
素描	安井曾太郎	題不詳	2-D-11			
素描	安井曾太郎	題不詳	2-D-12			
素描	安井曾太郎	題不詳	2-D-13			
素描	安井曾太郎	題不詳	2-D-14			
素描	安井曾太郎	題不詳	2-D-15			
油彩等	大竹伸朗	WEB	2-A-149	大竹伸朗 全景 1955-2006	東京都現代美術館	平成18年10月14日ー12月24日
日本画	上村松篁	竹鶴	2-B-28	余白の美ー象徴空間の魅力ー	松伯美術館	平成18年10月17日ー12月3日
油彩	鬼木美代子	サンマルコ広場の午後	1-A-557	鬼木美代子遺作展	福岡市美術館	平成18年11月14日ー11月19日
油彩	大津英敏	東京哀歌	1-A-32	大津英敏展ー伝えたい気持ちー	損保ジャパン東郷青児 美術館	平成18年11月23日ー12月26日
油彩	牛島憲之	赤坂見附	1-A-24	時代と美術の多面体 ー近代の成立期に光をあててー	神奈川県立近代美術館 葉山	平成19年1月13日ー3月25日
油彩	マルク・シャガール	空飛ぶアトラージュ	3-A-87	シャガール展	宇都宮美術館 三重県立美術館 千葉県美術館 (貸出は宇都宮展のみ)	平成19年2月10日ー4月8日 平成19年4月14日ー6月3日 平成19年6月9日ー7月29日

■ 古美術

種別	作品名	作者名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
金工	火縄銃(烏天狗図金象嵌)		4-Hc-186	大河ドラマ『功名が辻』特別展 山内一豊とその妻	江戸東京博物館 静岡県立美術館 高知県立文学館	平成17年12月23日ー平成18年2月5日 平成18年4月15日ー5月28日 平成18年7月15日ー8月31日
書跡	重文 妙総大師道潜墨蹟 (与淑通教授尺牘)	道潜	6-I-2	書の国宝 墨蹟	大阪市立美術館 五島美術館	平成18年4月18日ー5月28日 平成18年6月17日ー7月23日
書跡	重文 古林清茂墨蹟 (幽禅人送別偈)	古林清茂	6-I-4			
書跡	重文 月江正印墨蹟 (七言絶句)	月江正印	6-I-5			
書跡	重文 清拙正澄墨蹟 (与元中別称偈)	清拙正澄	6-I-6			
絵画	尹大納言絵詞	不詳	6-B-18	大絵巻展ー国宝「源氏物語絵 巻」 「鳥獸戯画」などー堂公開	京都国立博物館	平成18年4月22日ー6月4日
彫刻	重文 十二神将立像 摩虎羅大将・卯神		5-G-7-4	空海と九州のみほとけ ー弘法大使帰朝一二〇〇年 記念特別展ー	福岡市博物館	平成18年9月15日ー10月29日
彫刻	重文 十二神将立像 波夷羅大将・辰神		5-G-7-5			
彫刻	重文 金剛般若経開題残巻	空海	6-I-1			

種別	作品名	作者名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
陶磁器	染付山水文大皿	有田焼鍋島様式	14-Ha-30	将軍家への献上 鍋島 —日本磁器の最高峰—	佐賀県立九州陶磁文化館 MOA美術館	平成18年9月30日—11月12日
陶磁器	鍋島染付桃果文大皿	有田焼鍋島様式	14-Ha-118			平成18年12月2日—平成19年1月23日
金工	重文 線刻十一面観音鏡像		6-Hc-18	鏡像の美 —鏡に刻まれた仏の世界—	大和文華館	平成18年10月7日—11月12日
絵画	龍門登鯉図	円山応挙	4-B-24	魚のすがた展 —みる、釣る、喰う、祈る、遊ぶ—	愛媛県美術館	平成18年10月12日—11月26日
絵画	琴高仙人・日月図	狩野永徳	4-B-173			
絵画	蛸子和尚像	仙厓義梵	12-B-5			
絵画	章魚図	仙厓義梵	12-B-20			
陶磁器	重文 色絵吉野山図茶壺	野々村仁清	6-Ha-50	京焼—みやこの意匠と技—	京都国立博物館	平成18年10月17日—11月26日
陶磁器	色絵菊図向付	尾形乾山	6-Ha-109			
陶磁器	粉吹茶碗 銘「十石」		6-Ha-56	九州の茶陶展 —開館二十五周年記念—	飯塚市歴史資料館	平成18年10月19日—11月26日
陶磁器	古雲鶴筒茶碗		6-Ha-63			
陶磁器	高取掛分面取半筒茶碗	高取焼 白旗山窯	14-Ha-82			
陶磁器	褐釉耳付水指	高取焼 内ヶ磯窯	14-Ha-97			
絵画	阿蘭陀絵帖	宋紫山筆	4-B-105	動物絵画の100年 1751-1850	府中市美術館	平成19年3月17日—4月21日
絵画	犬図	仙厓義梵	9-B-7			
絵画	虎図	仙厓義梵	9-B-46			
絵画	重文 五祖荷鋤図	伝・牧谿筆 樵隱悟逸賛	6-B-2	悟りの世界：中世日本における 禅宗の人物および説話画	ジャパンソサエティ・ギャ ラリー（ニューヨーク）	平成19年3月28日—6月17日
絵画	布袋図	伝・胡直夫筆 偃谿広間賛	6-B-3			

展示室

平成 18 年

▶江頭淳一展 III

4月4日(火)～4月9日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=3,664人
油彩画約80点、デッサン100点、ポスター12点を展示。

▲青々会篆刻書法展

4月4日(火)～4月9日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=561人
故吉野松石先生遺作10点、会員の書・篆刻約90点を展示。

▶第9回 彩展

4月4日(火)～4月9日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=660人
具象画約40点を展示。

▶第1回 宙の会展

4月4日(火)～4月9日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=812人
油彩、水彩、木炭デッサンの作品43点を展示。

▶第1回 カルトン画展

4月4日(火)～4月9日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,102人
カルトン画76点を展示。

▶中国駐福岡総領事館開館二十周年記念 在日中国画家絵画展

4月11日(火)～4月16日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=6,100人
油彩、水墨画50点を展示。

▶版画工房WAと無平窯作陶展

4月11日(火)～4月16日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,185人
版画作品40点と無平窯作品42点を展示。

▶中村吉之助写真塾九州10周年記念作品展

4月11日(火)～4月16日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,251人
カラーを中心に全紙パネル52点を展示。

▶鴻巣書作展

4月11日(火)～4月16日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=836人
大作、小品、額物、軸物の作品100点を展示。

▶和白水曜会 油絵展

4月11日(火)～4月16日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=916人
油彩45点を展示。

▶小川郁子油彩展「あゆみ」

4月18日(火)～4月23日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=3,037人
20号～100号の作品54点を展示。

▶第4回 はじめての日本画展

4月18日(火)～4月23日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,284人
8号～50号の作品33点を展示。

▶蘆洲会書展

4月18日(火)～4月23日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=776人
額装、色紙額、扇子、習作など作品87点を展示。

▶平成17年度 伊都の里研修所作品展

4月18日(火)～4月23日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=852人
漢字、かな、調和体など軸装、額装、パネル113点を展示。

▶第13回 さくら会水彩画展

4月18日(火)～4月23日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,518人
6号～20号の作品55点を展示。

▶わだち会展

4月25日(火)～4月30日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=3,845人
油彩画5点、アクリル画20点、水墨画11点を展示。

▶藤村信彦ーリヒアー写真展

4月25日(火)～4月30日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,069人
半切作品33点を展示。

▶ももちパレス 洋画工ル サバド

4月25日(火)～4月30日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,264人
油彩約40点を展示。

▶グループ季楽 水彩画展

4月25日(火)～4月30日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,839人
4号・6号・8号の作品76点を展示。

▶かな書道 九州藍菊会展

4月25日(火)～4月30日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,134人
2尺×8尺、2尺×6尺、半切、小品など79点を展示。

▶池末 満展

5月2日(火)～5月7日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=10,272人
油彩画100号～200号の作品26点を展示。

▶甲斐順一写真展「雲の情景」

5月2日(火)～5月7日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,693人
カラー全紙額装26点、半切額装6点等を展示。

▶ハートフルポエトリー あみVo.15

5月2日(火)～5月7日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,161人
詩を取り入れた絵・書・置物作品120点を展示。

▶日本原色押花文化協会展 一花万華一

5月2日(火)～5月7日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,298人
自然の美しさを作品にした色紙、額、屏風80点を展示。

▶第4回 NHK福岡文化センター・クロッキー 淡彩画教室 みづたまの会

5月2日(火)～5月7日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,426人
4号～50号の作品53点を展示。

▶'06 玄展

5月9日(火)～5月14日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=8,093人
油彩、木彫、ポリエステル、金属等の具象・抽象作品35点を展示。

▶現代水墨 雅象会

5月9日(火)～5月14日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,762人
水墨画30点を展示。

▶第8回 九州日中水墨画研究会交流書画展

5月9日(火)～5月14日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,413人
山水画、人物画、花鳥画、書など69点を展示。

▶第24回 グループわらべ水彩画展

5月9日(火)～5月14日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,647人
静物画、人物画、写実的作品65点を展示。

▶和田木彫教室 作品展

5月9日(火)～5月14日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=2,659人
木彫作品200点を展示。

▶岡部文明展 ヒエロを描く一戦争と平和と楽園

5月16日(火)ー5月21日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=678人
油彩を中心にアクリル、パステル、ペン画など61点を展示。

▶現代水墨画 虹展

5月16日(火)ー5月21日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,138人
2年間の成果を38点の作品で紹介。

▶第24回 墨心会 水墨画展

5月16日(火)ー5月21日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=814人
市内5公民館合同で作品約60点を展示。

▶06洋画グループ 虹の会&ドリーム展

5月16日(火)ー5月21日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,010人
油彩画、水彩画70点を展示。

▶前田信幸土彩展06

5月16日(火)ー5月21日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=970人
50号~150号の土彩画、水彩画約61点を展示。

▶第59回 示現会展

5月23日(火)ー5月28日(日)
特別展示室A
入場料=一般 700(500)円、高・大生 400(300)円、
小・中生無料 ※()内は割引料金
日数=6日/観覧者数=3,922人
油彩・水彩165点を展示。

▶第19回 三軌会写真部九州展

5月23日(火)ー5月28日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=2,209人
選抜作品と九州関係者入選作品185点を展示。

▶「熱視線」入江奈美子写真展

5月23日(火)ー5月28日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=946人
舞台写真四切~半切作品72点を展示。

▶岡博写真作家 50周年記念写真展「九州の海」

5月23日(火)ー5月28日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=1,299人
全紙40点、半切60点、会員40人の作品140点を展示。

▶調 重行 写真展

5月23日(火)ー5月28日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,478人
利尻、礼文島花の旅の写真作品。63点を展示。

▶第22回 西部朝日書道展

5月30日(火)ー6月4日(日)
特別展示室A、市民ギャラリーA・B
日数=6日/観覧者数=3,114人
漢字、かな、篆刻の公募作品1,113点を展示。

▶第3回 九州・山口・沖縄 代表書作家展

5月30日(火)ー6月4日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,915人
漢字、かな、篆刻作家40人の作品約80点を展示。

▶立花会第10回油絵展

5月30日(火)ー6月4日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=701人
20号~100号の作品48点を展示。

▶第19回 心自会書展

5月30日(火)ー6月4日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,486人
短歌、俳句、詩歌を創作した作品100点を展示。

▶第56回 モダンアート福岡展

6月6日(火)ー6月11日(日)
特別展示室A
観覧料=一般800円、高・大生500円、小・中生200円
日数=6日/観覧者数=1,003人
絵画・彫刻・版画・写真・デザイン・スペースアート123点を展示。

▶熊井和彦 彫刻展

6月6日(火)ー6月11日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=449人
石、木、ブロンズ、漆等の作品50点を展示。

▶城南文化サークル「木金曜絵画教室展」

6月6日(火)ー6月11日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=997人
油絵、水彩、アクリル、はがき絵など作品約150点を展示。

▶江曇会 第20回水墨画展

6月6日(火)ー6月11日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=1,207人
水墨画、屏風、軸装、額装による作品125点を展示。

▶第24回 上野の森美術館大賞展九州展

6月13日(火)ー6月18日(日)
特別展示室A
入場無料=一般600(500)円、高・大生400(300)円、
小・中生無料 ※()内は割引料金
日数=6日/観覧者数=1,123人
絵画85点を展示。

▶角間貴生展&制作パフォーマンス

6月13日(火)ー6月18日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,259人
木版画、銅版画46点の展示および版画制作パフォーマンス・銅版画体験パフォーマンス。

▶グループNOW水彩画展

6月13日(火)ー6月18日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,006人
20号・F10・F8の作品41点を展示。

▶どんぐりの会 水彩画展

6月13日(火)ー6月18日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=957人
作品48点を展示。

▶第14回 翠潮会 日本画展

6月13日(火)ー6月18日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,257人
20号~60号作品37点を展示。

▶第7回 グループ四季水彩画展

6月13日(火)ー6月18日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,378人
4号~12号風景画を中心に58点を展示。

▶第102回 太平洋展・第41回 西日本公募展

6月20日(火)ー6月25日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般800(600)円、高・大生600(500)円、
小・中生無料 ※()内は割引料金
日数=6日/観覧者数=3,800人
絵画、彫刻、版画、染色の各部に会員、会友の制作発表のほか、研究所における後進の指導ならびに活動作品約140点を展示。

▶和紙ちぎり絵展

6月20日(火)ー6月25日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,209人
サムホールから50号の作品70点を展示。

▶アメリカンパッチワークキルト展

6月20日(火)ー6月25日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,605人
ハワイアンキルト、アップリケキルト、ワンパターンキルト、
ワンパッチキルト作品30点と小物作品150点を展示。

▶素心書 おかの素子展

6月20日(火)ー6月25日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=621人
平面作品、書あわせて52点展示。

▶第5回「風2006」三公民館合同写真展

6月20日(火)ー6月25日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,246人
風景、スナップ、花など半切額入り作品74点を展示。

▶65周年記念 創元展福岡巡回展

6月27日(火)ー7月2日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般600(400)円、高・大生400(300)円、
小・中生無料 ※()内は割引料金
日数=6日/観覧者数=3,522人
東京展の選抜作品と地方公募作品(油絵、水彩、版画など)239点を展示。

▶第15回 翠峰会展

6月27日(火)ー7月2日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=657人
書、水墨画作品80点を展示。

▶白崎禎子遺作展

6月27日(火)ー7月2日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,107人
日本画59点を展示。

▶無師の会作品発表会

6月27日(火)ー7月2日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,041人
水彩、写真、油彩の作品82点を展示。

▶第39回 てん・ぐるうふ展

6月27日(火)ー7月2日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,107人
油彩、水彩作品57点を展示。

▶第37回 日展

7月8日(土)ー7月23日(日)
特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料=一般1,100(800)円、高・大生700(500)円、
小・中生400(300)円 ※()内は割引料金
日数=14日/観覧者数=15,028人
日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門にわたり、
全国巡回の基本作品と九州・山口・沖縄の地元出品
作品あわせて約450点を展示。

▶第20回記念 工芸美術知新会展

7月25日(火)ー7月30日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=2,334人
陶磁器、染織、人形、木竹、七宝、金工、皮革、漆など
会員および公募作品を67点展示。

▶第18回 明墨会書展

7月25日(火)ー7月30日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=607人
漢字、かな、近代詩に創作や臨書など78点を展示。

▶第28回 朝日学生書道展

7月25日(火)ー7月30日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=926人
九州・山口・沖縄各県在住の小・中・高校生を対象と
した公募展。作品539点を展示。

▶第6回玄洋・周船寺公民館水彩教室展

7月25日(火)ー7月30日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=817人
水彩画、パステル画、デッサンあわせて71点を展示。

▶二科会写真部福岡支部 写真公募展・支部員展

8月1日(火)ー8月6日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=10,386人
写真作品172点を展示。

▶柴田益夫写真展「Blue Symphony」

8月1日(火)ー8月6日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,627人
水中景観をインクジェットプリントにした大型写真作
品20点を展示。

▶第15回 フォトサークルしゅん写真展

8月1日(火)ー8月6日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,672人
風景、スナップ、人物など半切サイズ54点を展示。

▶狂詩画展

8月1日(火)ー8月6日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,434人
ペン画作品100点を展示。

▶第46回 西日本フォトコンテスト入賞作品展

8月1日(火)ー8月6日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,973人
招待作品、役員委嘱作品40点および入賞作品80点
を展示。

▶村上勝展

8月8日(火)ー8月13日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=3,031人
新作「羽状シリーズ」2点と新しく立ち上げている「光を
ひろう」2点を展示。

▶ねころんで30

8月8日(火)ー8月13日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=706人
油彩画、インスタレーション、額装など50点を展示。

▶福岡大学美術部有志展

8月8日(火)ー8月13日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=639人
油彩、水彩、CG、陶器、オブジェなど40点を展示。

▶崔滄任個人展

8月8日(火)ー8月13日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=638人
自然の有機形態をテーマにした油彩画35点を展示。

▶光彩会展

8月8日(火)ー8月13日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=775人
日本画、水墨画あわせて64点を展示。

▶書のかたち四人展一書の協奏一

8月15日(火)ー8月20日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=8,880人
漢字、仮名、調和体を額装、軸装、卷子、折帖、屏風、
衝立、陶書にし、55点を展示。

▶梶原 慎一郎展

8月15日(火)ー8月20日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,017人
油彩を中心にクレパス、鉛筆画、日本画33点を展示。

▶第3回姚明中国水墨画書道研究会展

8月15日(火)ー8月20日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,211人
中国伝統絵画技法による色紙から全紙の画仙紙68
点を展示。

▶AYUKI exhibition

8月15日(火)ー8月20日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=780人
アクリル、色エンピツによる半抽象、半具象の絵画77
点および詩を展示。

▶フジFCCJP福岡 江崎幹秀撮影ツアー写真展

「一幅の風景」
8月15日(火)ー8月20日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,538人
半切アルボードパネルで58点を展示。

▶第20回 日洋展

8月22日(火)ー8月27日(日)
特別展示室B、市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料=一般600円、高・大生400円、小・中生無料
日数=6日/観覧者数=2,868人
常任委員、委員、会員の中から巡回作品および九州
在住一般入選作品あわせて約1000点を展示。

▶片山博詞彫刻展～折りの形象 新しい意味を紡ぐ～

8月29日(火)ー9月3日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=16,217人
塑像(等身大15点)ほかブロンズ、FRPの作品あわせ
て243点を展示。

▶第1回香岐南公民館写真サークル作品発表会

8月29日(火)ー9月3日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,504人
花、風景、人物など四切～全紙58点を展示。

▶彩の会水彩画展

8月29日(火)ー9月3日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,592人
水彩、アクリル画など8号～40号の作品約80点を展示。

▶第39回 青像グループ写真展

8月29日(火)ー9月3日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,207人
肖像写真(モノクローム、カラー)41点を展示。

▶九州大学書道部 創部45周年記念展

8月29日(火)ー9月3日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,472人
漢字、かな、篆刻、近代詩文など60点を展示。

▶日本画 榊孝陽 作品展

9月5日(火)～9月10日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,175人
各種展覧会出品作品(50号～180号)より選抜した40点を展示。

▶第18回 サムホール公募展

9月5日(火)～9月10日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,844人
油絵の一番小さいサイズの作品388点を展示。

▶福岡女流陶芸展

9月5日(火)～9月10日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,172人
公募展入選、入賞作品と花入、茶器、食器、人形など280点を展示。

▶第4回志学会展

9月5日(火)～9月10日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,262人
水彩色鉛筆画、水彩画、アクリル画、油絵など127点を展示。

▶30周年南蛮フォトクラブ写真展

9月5日(火)～9月10日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,091人
記念作品としてモノクロ写真62点を展示。

▶「SAKURAI NAKAMURA」二人展

9月12日(火)～9月18日(月・祝)
特別展示室B
日数=7日/観覧者数=509人
油彩、アクリル、オブジェ37点を展示。

▶Daisuke Ochi Akiko Sase EXHIBITION 2

9月12日(火)～9月18日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数=7日/観覧者数=536人
思考による産物と「光」をテーマに平面・写真・絵画(100号)作品15点を展示。

▶手描き染め生徒作品展

9月12日(火)～9月18日(月・祝)
市民ギャラリーB
日数=7日/観覧者数=520人
日傘、のれん、袋、ランチョンマット、タペストリー、額など300点を展示。

▶アルファクラブ作品展「カリグラフィの鳥瞰図」

9月12日(火)～9月18日(月・祝)
市民ギャラリーC
日数=7日/観覧者数=609人
平面作品、半立体、立体作品、写本など約100点を展示。

▶第34回 古光書作展

9月12日(火)～9月18日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数=7日/観覧者数=764人
漢字、仮名、一字書、現代文調体作品43点を展示。

▶第3回 やさしい押し花&ガラスアート展

9月20日(水)～9月24日(日)
市民ギャラリーA
日数=5日/観覧者数=874人
押し花、花絵額130点、ガラスアート70点を展示。

▶第36回 世界児童画展 福岡・佐賀展

9月20日(水)～9月24日(日)
市民ギャラリー-B・C
日数=5日/観覧者数=2,161人
世界の子どもの絵画約600点を展示。

▶黄禧品ーカオス展ー

9月20日(水)～9月24日(日)
市民ギャラリーD
日数=5日/観覧者数=759人
平面絵画100号11点、80号2点、小品3点を展示。

▶柴田ゼミナール作品展

9月26日(火)～10月1日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=621人
白黒、カラー、デジタル・映像など69点を展示。

▶第21回 水墨祥泉会展

9月26日(火)～10月1日(日)
市民ギャラリー-B・C
日数=6日/観覧者数=1,722人
水墨画、墨彩画81点を展示。

▶郵便連の会員による『ゆう美会』

9月26日(火)～10月1日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,137人
油絵、水彩、水墨、書、写真、彫刻、版画など110点を展示。

▶第32回 游展

10月3日(火)～10月9日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数=7日/観覧者数=1,156人
半具象や抽象の作品38点を展示。

▶福岡フォトフレンドさくら第17回写真展

10月3日(火)～10月9日(月・祝)
市民ギャラリーB
日数=7日/観覧者数=1,056人
写真作品100点を展示。

▶第14回 新才能面展

10月3日(火)～10月9日(月・祝)
市民ギャラリーC
日数=7日/観覧者数=1,214人
福岡教室、下関教室生の新作70点を展示。

▶第18回 彩舟会展

10月3日(火)～10月9日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数=7日/観覧者数=1,404人
SM～100号までの油彩画87点を展示。

▶楽しい似顔絵展

10月11日(水)～10月15日(日)
市民ギャラリーA
日数=5日/観覧者数=437人
作品約50点を展示。

▶TOTSUTEN 2006福岡教育大学美術科OB展

10月11日(水)～10月15日(日)
市民ギャラリーB
日数=5日/観覧者数=530人
油彩、水彩、ミクストメディア、写真、版画、彫刻など47点を展示。

▶第8回 写真展 生展

10月11日(水)～10月15日(日)
市民ギャラリーC
日数=5日/観覧者数=402人
「今日を生きる人々」をテーマに約100点を展示。

▶第9回 白鷺書道会選抜展

10月11日(水)～10月15日(日)
市民ギャラリーD
日数=5日/観覧者数=880人
仮名、臨書、調和体の作品約140点を展示。

▶第36回 福岡市高齢者美術展

10月17日(火)～10月22日(日)
市民ギャラリーA・B・C
日数=6日/観覧者数=1,816人
福岡市居住の60歳以上の公募展。絵画、写真、工芸200点を展示。

▶鶴陽美術展

10月17日(火)～10月22日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,367人
洋画、日本画、工芸、彫刻、写真、書の作品51点を展示。

▶玉むし会 第39回展

10月24日(火)～10月29日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=915人
額、屏風、バックほか75点を展示。

▶日本国際美術家協会西日本支部展

10月24日(火)～10月29日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=626人
一人一人がそれぞれの造形理念を限られた表現手段に訴え純粋無垢な芸術創造。作品36点を展示。

▶榊 晃弘「万葉のこころ」写真展

10月24日(火)～10月29日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,416人
半切、全紙カラー40点を展示。

▶那乃津会かな書展

10月24日(火)～10月29日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,444人
仮名、古典、調和体の作品約200点を展示。

▶第12回 学校飼育動物スケッチコンクール展

10月31日(火)～11月5日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=821人
市内の小学校、幼稚園などから応募された受賞作品42点を展示。

▶第22回 城南区市民アート展

10月31日(火)～11月5日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=1,170人
中学生以上で城南区に居住あるいは通勤・通学している人の応募作品。絵画、グラフィックデザイン、書、工芸、立体、造形作品151点を展示。

▶仏教の美

10月31日(火)～11月5日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,226人
書道、絵画、写印、彫刻38点を展示。

▶第11回 福岡市美術連盟展

11月7日(火)～11月12日(日)
特別展示室B、市民ギャラリーA・B・C・D
日数=6日/観覧者数=3,417人
「福岡からの美術」を発信する。日本画、絵画、彫刻、工芸、写真、グラフィックデザイン、ノンセクションの作品210点とパフォーマンスアートやビデオアートなど幅広い芸術作品を展示。

▶第38回 九州かな書道協会展

11月14日(火)～11月19日(日)
特別展示室A
日数=6日/観覧者数=1,035人
額、卷子、帖作品375点、作品の規定はなく、個性的な表装もあり多種多様な作品を展示。

▶鬼木美代子遺作展

11月14日(火)～11月19日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,032人
油彩、コラージュ、水彩37点を展示。

▶福岡市人権尊重作品展

11月14日(火)～11月19日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=771人
人権尊重週間の行事として、ポスター、標語等340点を展示。

▶第27回 中央区市民文化祭美術作品展

11月14日(火)～11月19日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=1,238人
中央区に居住もしくは通勤・通学している方による、洋画、日本画、写真、書、手工芸の5部門の応募作品約500点を展示。

▶第29回 福岡市退職小学校長会作品展

11月14日(火)～11月19日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,133人
絵画、書、工芸、写真約80点を展示。

▶第23回 読売書法展九州展

11月21日(火)～11月26日(日)
特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料=一般 500円、高・大生300円、小・中生無料
日数=6日/観覧者数=2,819人
国内最大規模の公募展。九州展は、作品約2,200点を展示。

▶第58回 毎日書道展九州展

11月28日(火)～12月3日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般 500円、高・大生以下無料
日数=6日/観覧者数=5,138人
九州、山口地区の受賞作品を中心に、全国10会場の巡回作品も含めた総合書展。前期・後期で1,031点を展示。

▶ぶらり筆への会筆展画作品展

11月28日(火)～12月3日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=890人
F4～F6号の作品105点を展示。

▶第20回記念 かな書道研究蒼松会九州展

11月28日(火)～12月3日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=1,020人
額、半折額軸、県展サイズ、全懐紙、半懐紙、帖、卷子などかな作品と調和体作品約180点を展示。

▶三礼かな書作展

11月28日(火)～12月3日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,460人
平安かな作品53点を展示。

▶第61回 行動美術協会展

12月5日(火)～12月10日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般 800(600)円、高・大生 600(400)円、小・中生無料 ※()内は割引料金
日数=6日/観覧者数=1,271人
東京本展出品作品の中から厳選された会員、会友および一般の絵画、彫刻を基本に地元作家の作品を展示。

▶第26回 南区美術展

12月5日(火)～12月10日(日)
市民ギャラリーA・B・C
日数=6日/観覧者数=1,227人
南区に在住、通勤、通学の16歳以上の市民の公募作品および南区美術協会員の作品(絵画・彫刻・書・工芸・写真・グラフィックデザイン)190点を展示。

▶第6回福岡ロータリー・ジュニア美術展

12月5日(火)～12月10日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=593人
中学生を対象にした公募展。水彩、アクリル、コンテ、パステル、鉛筆、版画など151点を展示。

▶第32回 西日本書美術展

12月12日(火)～12月17日(日)
特別展示室A・B
日数=6日/観覧者数=3,135人
代表、委嘱、推薦、選抜作家ならびに一般公募入賞作品925点を展示。

▶フォトニ水会第10回作品展

12月12日(火)～12月17日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=557人
全紙額装41点を展示。

▶平成18年度福岡大学書道部展

12月12日(火)～12月17日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=556人
書全般52点を展示。

▶荒牧香陽遺作展

12月12日(火)～12月17日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,076人
漢字、仮名、調和体を額装、軸装など42点を展示。

▶西日本新聞書道之友展

12月19日(火)～12月24日(日)
特別展示室A
日数=6日/観覧者数=2,744人
学生部半紙から、一般部半切からの作品952点を展示。

▶第40回記念展 玄霜会日本画展

12月19日(火)～12月24日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=1,380人
福岡県美術協会日本画部会員の作品31点を展示。

▶第5回つくし押花倶楽部作品展

12月19日(火)～12月24日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=850人
額装、衝立作品68点を展示。

▶花の会福岡支部展

12月19日(火)～12月24日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,069人
花の写真を全紙、半切、ワイド四切66点を展示。

▶第29回西日本版画協会展

12月19日(火)～12月24日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=947人
木版、孔版、平板作品56点を展示。

▶Chie Art 展～ホスピタルアート～

12月19日(火)～12月24日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,140人
絵画が与える心理的作用の体感、絵画と医療のコラボレートなど作品31点を展示。

平成19年

▶第16回ぐるーぷ“街”風景画展

1月5日(金)～1月8日(月・祝)
特別展示室B
日数=4日/観覧者数=820人
「変貌する博多」を視点に作品約220点を展示。

▶福岡県写真研究会第1回作品展

1月5日(金)～1月8日(月・祝)
市民ギャラリーA
日数=4日/観覧者数=861人
写真撮影の感性と技術の向上を目指して、作品50点を展示。

▶**イタリア・スペインの田舎の風～上野守治写真展**

1月5日(金)～1月8日(月・祝)
市民ギャラリーB
日数=4日/観覧者数=1,767人
田舎に心が惹かれ制作した作品。カラーワイド4切91点を展示。

▶**長生園ひな人形発表会(博多人形教室)**

1月5日(金)～1月8日(月・祝)
市民ギャラリーC
日数=4日/観覧者数=821人
博多人形108点を展示。

▶**第30回 青満展**

1月5日(金)～1月8日(月・祝)
市民ギャラリーD
日数=4日/観覧者数=681人
仮名作品を中心に漢字、調和体の作品33点を展示。

▶**南画 木原信 遺墨展**

1月10日(水)～1月14日(日)
特別展示室B
日数=5日/観覧者数=1,204人
日本画、水墨F8～F100号100点、机上作品93点を展示。

▶**田中宏・田中美美江写真展「日本列島神楽旅」**

1月10日(水)～1月14日(日)
市民ギャラリーA
日数=5日/観覧者数=592人
各地の無形民俗文化財「神楽」の写真55点を展示。

▶**第14回蒼龍会書作展**

1月10日(水)～1月14日(日)
市民ギャラリーB
日数=5日/観覧者数=841人
半紙、色紙、半紙、扇面など漢字、かな、ペン130点を展示。

▶**写真倶楽部 梵 作品展**

1月10日(水)～1月14日(日)
市民ギャラリーC
日数=5日/観覧者数=517人
作品120点を展示。

▶**九州大学美術部展示会**

1月10日(水)～1月14日(日)
市民ギャラリーD
日数=5日/観覧者数=546人
油彩、水彩、デッサン24点を展示。

▶**(社)日本広告写真家協会九州支部会員展**

「**新九州・山口・沖縄の顔100人展**」

1月16日(火)～1月21日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=961人
ポートレート写真106点を展示。

▶**キルトサークルYou♡遊パッチワークキルト展**

1月16日(火)～1月21日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=878人
ペットカバー、タペストリー、バック他157点を展示。

▶**第55回 福岡市中学校書作品展**

1月16日(火)～1月21日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=1,135人
半紙中心で条幅など850点を展示。

▶**第20回 福岡県高等学校 芸術・文化連盟
福岡地区写真展**

1月16日(火)～1月21日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,218人
県高文祭優秀作品、福岡地区入選作品など計101点を展示。

▶**岩永敬子個展**

1月23日(火)～1月28日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=627人
油彩17点、小品14点を展示。

▶**人物展**

1月23日(火)～1月28日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=753人
油彩、アクリル、デッサン、クロッキー約80点を展示。

▶**第7回 福岡市東区美術協会会員展**

1月23日(火)～1月28日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=823人
日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真60点を展示。

▶**第37回 福岡市医師会文化祭美術展**

1月23日(火)～1月28日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=934人
絵画、写真、書、工芸など45点を展示。

▶**第31回 九輝展**

1月30日(火)～2月4日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=810人
油絵、日本画、水墨画、写真、染色、押花絵44点を展示。

▶**福岡市中学校障がい児学級合同作品展
「ファインアート展」**

1月30日(火)～2月4日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=813人
絵画、手芸、陶芸、書、木工、紙工、協同作品など951点を展示。

▶**第50回記念 西日本読書感想画コンクール
50年のあゆみと優秀作品展**

1月30日(火)～2月4日(日)
市民ギャラリーB・C
日数=6日/観覧者数=1,543人
九州・山口各県の小中高生最優秀から優良作品77点、その他回顧展、パネルなどを展示。

▶**第39回 九州女子大学卒業書作品展**

1月30日(火)～2月4日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=688人
漢字、仮名、漢字かな交じり56点を展示。

▶**第91回 二科展**

2月6日(火)～2月12日(月・祝)
特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料=一般800(600)円、高・大生500(300)円、小・中生無料 ※()内は割引料金
日数=7日/観覧者数=7,288人
全国10会場の巡回展、絵画、彫刻、デザイン、写真など800点を展示。

▶**第60回記念 二紀展**

2月14日(水)～2月18日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般800(700)円、高・大生600(500)円、小・中生200(100)円 ※()内は割引料金
日数=5日/観覧者数=3,148人
全国巡回展、絵画137点、彫刻18点を展示。

▶**第56回福岡市中学校美術展**

2月14日(水)～2月18日(日)
市民ギャラリーA・B・C・D
日数=5日/観覧者数=4,185人
福岡市内の国公立中学校69校、養護学校7校、聾学校1校の生徒作品(絵画、デザイン、彫刻、工芸、陶芸、立体)3,000点を展示。

▶**自由美術展**

2月20日(火)～2月25日(日)
特別展示室A
観覧料=一般700(500)円、高・大生500(300)円、小・中生無料 ※()内は割引料金
日数=6日/観覧者数=476人
巡回展。秀作120点、地元作家の作品30点を展示。

▶**第20回記念 蘭亭書道展**

2月20日(火)～2月25日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=2,771人
漢字、かな、篆刻、調和体で色紙、短冊約2,500点を展示。

▶**社会福祉法人 玄洋会 あるがまま展2007**

2月20日(火)～2月25日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,087人
絵画、オブジェなど45点を展示。

▶**麦の会展**

2月20日(火)～2月25日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=936人
洋画教室生徒作品57点を展示。

▶**水の会かな書展**

2月20日(火)～2月25日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=964人
人額、帖、屏風、扇面80点を展示。

▶**雅友会デッサン水彩画作品展**

2月20日(火)～2月25日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,289人
F6～H10を中心に約80点を展示。

▶新庄良博彫刻展

2月27日(火)ー3月4日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=569人
木の彫刻13点を展示。

▶第13回福岡市書道協会展

2月27日(火)ー3月4日(日)
市民ギャラリーA・B・C・D
日数=6日/観覧者数=1,004人
福岡市在住作家の作品、半切以下の小作品約300点を展示。

▶第74回 独立展

3月20日(火)ー3月25日(日)
特別展示室A・B
観覧料=一般800(700)円、高・大生600(500)円、
小・中生200円 ※()内は割引料金
日数=6日/観覧者数=1,506人
会員および受賞者と地元西日本の入選作品137点を展示。

▶第4回はがき絵加呂教室作品展

3月20日(火)ー3月25日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=1,070人
F6~F10 97点を展示。

▶七曜舎ヌードデッサン展

3月20日(火)ー3月25日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=1,059人
デッサン66点を展示。

▶第16回 星華中国水墨画学院福岡教室作品展

3月20日(火)ー3月25日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,076人
水墨画、墨彩画など額装、軸装約70点を展示。

▶第2回 宙の会展

3月20日(火)ー3月25日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,148人
油絵、水彩、木炭デッサン約50点を展示。

▶第13回 MUSABI展

3月27日(火)ー4月1日(日)
特別展示室B
日数=6日/観覧者数=866人
油絵、日本画、アクリル画、立体約50点を展示。

▶彩現万象α

3月27日(火)ー4月1日(日)
市民ギャラリーA
日数=6日/観覧者数=870人
写真と書、写真と絵画とのコラボレーション作品17点を展示。

▶李安子書・水墨画展

3月27日(火)ー4月1日(日)
市民ギャラリーB
日数=6日/観覧者数=954人
漢字、ハングル文字約50点、水墨画約25点を展示。

▶九電九友会絵画展

3月27日(火)ー4月1日(日)
市民ギャラリーC
日数=6日/観覧者数=1,210人
日本画、水墨画、水彩画、版画、油絵78点を展示。

▶第7回 九州大学美術部OB展

3月27日(火)ー4月1日(日)
市民ギャラリーD
日数=6日/観覧者数=1,125人
油絵、水彩画47点を展示。

講堂

講座・講演会名	期日	主催者	参加人数(人)
平成18年			
城の日(4月6日)勉強会	4月6日(木)	NPO法人鴻臚館福岡城跡歴史観光市民の会	110
福岡市中学校美術教育研究会総会	4月12日(水)	中学校美術教育研究会	—
第24回上野の森美術館大賞展九州展記念講演会	6月13日(火)	(財)日本美術協会・上野の森美術館、 (財)彫刻の森美術館、西日本新聞社、テレビ西日本	—
本家・大樋焼・大樋年雄先生講演会 「温故知新と温新知故」	7月8日(土) 7月9日(日)	(社)茶道裏千家淡交会福岡支部鴻臚青年部	150
第28回朝日学生書道展表彰式	7月25日(火)	朝日新聞社、西部朝日書道会	70
福岡市小学校図画工作科協議会	7月26日(水) 7月27日(木)	福岡市教育委員会	—
建築家フランク・ロイド・ライト「偉大なるオブセッション」上映会	7月29日(土)	(社)日本建築家協会九州支部	194
第7回二科会写真部福岡支部公募展審査	7月30日(日)	二科会写真部福岡支部	150
福岡市中学校美術教育協議会	8月2日(水)	福岡市教育委員会	—
日洋会美術講演会「現代具象絵画の展望」講師:日野耕之祐(日洋会会長)	8月22日(火)	日洋会九州支部	190
「ザ・キッズムービー」上映会	9月10日(日)	NPO法人博多映画道場	—
高齢者美術展表彰式	10月20日(金)	福岡市老人クラブ連合会	—
講演会「映画で語る日本国憲法」講師:伊藤千尋(映画監督)	10月22日(日)	福岡映画サークル協議会	40
第12回学校飼育動物スケッチコンクール表彰式	11月5日(日)	福岡市獣医師会	—
第22回城南区市民アート展表彰式	11月5日(日)	福岡市城南区役所、ふれあい城南運営委員会	—
第11回福岡市美術連盟記念講演会「21世紀アートと美術館の未来」 講師:伊東順二(長崎県立美術館長)	11月11日(土)	福岡市美術連盟	120
福岡シネマフェスティバル2006	11月25日(土) 11月26日(日)	福岡シネマフェスティバル実行委員会	52 38
FCC福岡コピーライターズクラブ審査会	12月8日(金) 12月9日(土)	FCC福岡コピーライターズクラブ	— —
第26回南区美術展表彰式	12月10日(日)	南区市民の祭り運営委員会、南区美術協会、 福岡市南区役所	—
西日本新聞書道之友展2006表彰式	12月24日(日)	西日本新聞イベントサービス	—
平成19年			
第13回福岡市書道協会展総会	3月4日(日)	福岡市書道協会	100
「ザ・キッズムービー」上映会	3月18日(日)	NPO法人博多映画道場	—

教養講座室

講座・講演会名	期日	主催者	参加人数(人)
平成18年			
美術修復を学ぶ	4月4日(火)	一華会	6
中村吉之介写真塾九州10周年記念写真展	4月11日(火)	中村吉之介写真塾九州	82
福岡写真研究会総会	4月16日(日)	福岡写真研究会	25
ニッコールクラブ福岡支部定期総会	4月16日(日)	ニッコールクラブ福岡支部	70
福岡市観光案内ボランティア研修	4月20日(木)	福岡市経済振興局	40
太平洋美術会西日本支部準備総会	4月29日(土)	(社)太平洋美術会西日本支部	60
日洋会福岡研究会	5月5日(金)	日洋会福岡	12
福岡市美術連盟総会	5月7日(日)	福岡市美術連盟	70
美術鑑賞をしての俳句研修	5月7日(日)	福岡俳人協会	20
福岡市中学校美術部顧問者会	5月10日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	35
デッサングループ	5月28日(日)	瀬戸葉子	10
美術修復について	5月30日(火)	一華会	10
福岡市小学校図画工作教育研究会6月定例会	6月10日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	50

講座・講演会名	期日	主催者	参加人数(人)
造形教育九州学会研究会	6月11日(日)	造形教育九州学会	14
創元会西日本美術展審査	6月18日(日)	創元会	47
第41回太平洋美術会西日本展授賞式	6月20日(火)	太平洋美術会西日本支部	68
日韓現代絵画交流展会議	6月25日(日)	日韓現代絵画協会	20
美術修復について	6月27日(火)	一華会	10
福岡県高文連写真専門部研修会	6月28日(水)	福岡県高文連写真専門部	42
大樋焼 大樋年雄先生講演会 呈茶会	7月8日(土) 7月9日(日)	(社)茶道裏千家淡交会 福岡支部鴻臚™青年部	— —
第37回日展ワークショップ<書>	7月15日(土)	西日本新聞社	25
第37回日展ワークショップ<日本画>	7月16日(日)	西日本新聞社	14
第37回日展ワークショップ<彫刻>	7月17日(月)	西日本新聞社	25
日洋会福岡巡回展準備会	7月17日(月)	日洋会福岡	11
第37回日展ワークショップ<工芸美術>	7月19日(水)	西日本新聞社	12
第37回日展ワークショップ<洋画>	7月23日(日)	西日本新聞社	17
第20回記念知新会展授賞式	7月30日(日)	知新会	31
美術修復について	8月1日(火)	一華会	10
福岡県高等学校歴史研究会第1回日本史研究会	8月3日(木)	福岡県高等学校歴史研究会	26
横山大観展鑑賞会	8月11日(金)	よみうりFBS文化センター	20
絵画研究会	8月23日(水)	日洋会福岡	—
アクロス文化カレッジ福岡史跡探訪「福博の歴史を歩きませんか」	8月26日(土)	(財)アクロス福岡	65
美術修復について	8月29日(火)	一華会	10
フジクロームクラブLNW写真勉強会	9月3日(日)	フジクロームクラブLNW	—
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	9月6日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	—
映画上映会	9月10日(日)	NPO法人博多映画道場	—
福岡市小学校図画工作教育研究会9月定例会	9月16日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	33
大濠と福岡の子供たちを繋ぐひまわりプロジェクト	9月30日(土)	大濠と福岡の子供たちを繋ぐ ひまわりプロジェクト実行委員会	—
フジクロームクラブLNW写真勉強会	10月1日(日)	フジクロームクラブLNW	30
美術修復について	10月3日(火)	一華会	8
菜殻火俳句会	10月8日(日)	菜殻火俳句会	30
2007日韓現代美術展会議	10月15日(日)	日韓現代絵画協会	30
MPI福岡10月フォーラム	10月21日(土)	MPI福岡	28
色彩研修会	10月29日(日)	色彩研修会	10
第22回城南区市民アート展企画審査委員会	10月30日(月)	福岡市城南区役所、ふれあい城南運営委員会	—
美術修復について	10月31日(火)	一華会	10
平成18年度福岡市民芸術祭 第40回各流合同茶会	11月3日(金・祝)	福岡茶道文化連盟	—
第22回城南区市民アート展表彰式	11月5日(日)	福岡市城南区役所、ふれあい城南運営委員会	—
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	11月8日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	—
福岡市中学校美術教育研究会会員研修	11月15日(水)	福岡市中学校美術教育研究会	—
中央区市民文化祭美術作品展表彰式	11月19日(日)	中央区市民の祭り運営委員会、中央区役所	35
第23回読売書法展九州展示指導	11月20日(月)	読売新聞社、読売書法会	30
創元会研究会	11月26日(日)	創元会	29
第58回毎日書道展九州展	11月27日(月)	(財)毎日書道展	12
FCC福岡コピーライターズクラブ審査会	12月8日(金) 12月9日(土)	FCC福岡コピーライターズクラブ	— —
福岡ロータリージュニア美術展表彰式	12月10日(日)	福岡ロータリークラブ	50
行動美術会員会友会議	12月10日(日)	行動美術協会	25
赤木石堀先生を偲ぶ会	12月16日(土)	福岡大学学術文化部会書道部	50
イギリス史における女性と美術	12月17日(日)	イギリス女性史研究会	30
美術修復について	12月19日(火)	一華会	10

講座・講演会名	期日	主催者	参加人数(人)
平成19年			
フジクロームクラブLNW写真講評会	1月7日(日)	フジクロームクラブLNW	20
石膏デッサン	1月11日(木)	グループ形象	—
2007日韓現代美術展会議	1月21日(日)	日韓現代絵画協会	35
福岡市小学校図画工作教育研究会1月定例会	1月27日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	35
太平洋美術会西日本支部総会	1月28日(日)	(社)太平洋美術会西日本支部	68
美術修復について	1月30日(火)	一華会	10
創元会総会・作品研究会	2月3日(土)	創元会	54
フジクロームクラブLNW写真講評会	2月4日(日)	フジクロームクラブLNW	20
大竹省二写真セミナー	2月6日(火)	二科会写真部福岡支部	120
造形教育九州学会研究会	2月10日(土)	造形教育九州学会	10
福岡市小学校図画工作教育研究会2月定例会	2月17日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	55
アクロス文化カレッジ福岡史跡探訪「福岡の歴史を歩きませんか」	2月20日(火)	(財)アクロス福岡	—
太平洋美術会西日本支部 春の研修会	2月24日(土)	太平洋美術会西日本支部	50
	2月25日(日)		50
美術修復について	2月27日(火)	一華会	6
フジクロームクラブLNW写真講評会	3月8日(木)	フジクロームクラブLNW	30
第7回色彩研修会	3月11日(日)	色彩研修会	8
フジクロームクラブLNW写真講評会	3月18日(日)	フジクロームクラブLNW	30
2007日韓現代美術展会議	3月25日(日)	福岡日韓現代絵画交流協会	40
美術修復について	3月27日(火)	一華会	7

実技講座室

講座名	期日	主催者	参加人数(人)
平成18年			
創元会作品研究会	4月16日(日)	創元会	32
デッサン研究	4月23日(日)	ラ・リベルテ113	7
デッサングループ	4月30日(日)	瀬戸葉子	10
石膏デッサン	5月12日(金)	グループ形象	—
ヌードデッサン	5月14日(日)	二紀会	30
デッサン研究	5月21日(日)	ラ・リベルテ113	7
石膏デッサン	5月26日(金)	グループ形象	—
創元会作品研究会	5月28日(日)	創元会	42
デッサングループ	5月30日(火)	瀬戸葉子	—
石膏デッサン	6月9日(金)	グループ形象	3
デッサン研究	7月23日(日)	ラ・リベルテ113	7
デッサングループ	7月23日(日)	瀬戸葉子	10
作品研究会	8月6日(日)	創元会	37
ヌードデッサン・クロッキー会	8月8日(火)	森 信也	23
	8月9日(水)		26
	8月10日(木)		26
二紀会福岡支部絵画研究会	8月20日(日)	(社)二紀会	40
日洋会絵画研究会	8月22日(火)	日洋会福岡	30
	8月23日(水)		50
デッサン研究会	8月27日(日)	ラ・リベルテ113	8
勉強会(デッサン)	9月3日(日)	太平洋美術会洋画部	26
	9月10日(日)		18

講座名	期日	主催者	参加人数(人)
石膏デッサン	9月14日(木)	グループ形象	—
勉強会(デッサン)	9月17日(日)	太平洋美術会洋画部	—
石膏デッサン	9月22日(金)	グループ形象	—
デッサン研究会	9月24日(日)	ラ・リベルテ113	8
日洋会福岡絵画研究会	9月27日(水)	日洋会福岡	12
大濠と福岡の子供たちを繋ぐひまわりプロジェクト	9月30日(土)	大濠と福岡の子供たちを繋ぐひまわりプロジェクト 実行委員会	—
石膏デッサン	10月12日(木)	グループ形象	—
パパとキッズのアートプログラム in 札幌&福岡 世界でたった一つの絵本 講師:MAYA MAXX(アーティスト)	10月14日(土)	コスモ石油株式会社	40
デッサングループ	10月15日(日)	瀬戸葉子	10
石膏デッサン	10月20日(金)	グループ形象	—
デッサン研究会	10月22日(日)	ラ・リベルテ113	6
石膏デッサン	11月9日(木)	グループ形象	—
二紀会学習会	11月12日(日)	福岡二紀会	26
石膏デッサン	11月17日(金)	グループ形象	—
デッサングループ	11月19日(日)	瀬戸葉子	10
クロッキーデッサン会	11月22日(水)	森 信也	25
福岡市小学校図画工作教育研究会12月定例会	12月9日(土)	福岡市小学校図画工作教育研究会	37
デッサングループ	12月10日(日)	瀬戸葉子	10
デッサン研究	12月17日(日)	ラ・リベルテ113	7
平成19年			
クロッキーデッサン会	1月10日(水)	森 信也	21
	1月11日(木)		23
	1月12日(金)		23
石膏デッサン	1月19日(金)	グループ形象	—
デッサン研究	1月21日(日)	ラ・リベルテ113	6
デッサングループ	1月28日(日)	瀬戸葉子	11
石膏デッサン	2月1日(木)	グループ形象	—
デッサングループ	2月11日(日)	瀬戸葉子	10
石膏デッサン	2月16日(金)	グループ形象	—
デッサン研究	2月18日(日)	ラ・リベルテ113	7
創元会作品研究会	3月4日(日)	創元会	45
石膏デッサン	3月7日(水)	グループ形象	—
デッサン研究	3月11日(日)	ラ・リベルテ113	9
デッサングループ	3月18日(日)	瀬戸葉子	10

版画印刷工房

講座名	期日	主催者	参加人数(人)
平成18年			
北九州版画教室	4月6日(木)	北九州版画教室	1
版画制作	4月11日(火)	古賀そのみ	2
	4月28日(金)		2
	5月2日(火)		2
北九州版画教室	5月20日(土)	北九州版画教室	2
版画制作	5月23日(火)	古賀そのみ	2
版画制作	5月26日(金)	福岡アジア美術館	4
北九州版画教室	6月10日(土)	北九州版画教室	2
版画制作	6月13日(火)	古賀そのみ	2

講座名	期日	主催者	参加人数(人)
北九州版画教室	6月20日(火)	北九州版画教室	—
北九州版画教室	6月24日(土)	北九州版画教室	2
版画制作	6月27日(火)	古賀そのみ	2
版画制作	7月21日(金)	古賀そのみ	2
	7月25日(火)		2
北九州版画教室	7月26日(水)	北九州版画教室	1
	7月29日(土)		2
版画制作	8月1日(火)	古賀そのみ	2
北九州版画教室	8月9日(水)	北九州版画教室	1
版画制作	8月22日(火)	古賀そのみ	2
	9月5日(火)		2
	9月12日(火)		2
北九州版画教室	9月20日(水)	北九州版画教室	1
版画制作	10月3日(火)	古賀そのみ	2
	10月17日(火)		1
北九州版画教室	10月19日(木)	北九州版画教室	1
リトグラフの刷り	10月31日(火)	森 信也	1
北九州版画教室	11月11日(土)	北九州版画教室	2
リトグラフの刷り	11月12日(日)	森 信也	1
版画制作	11月14日(火)	古賀そのみ	2
リトグラフの刷り	11月18日(土)	森 信也	1
版画制作	11月24日(金)	古賀そのみ	2
北九州版画教室	12月2日(土)	北九州版画教室	2
	12月10日(日)		1
版画制作	12月12日(火)	古賀そのみ	2
平成19年			
エッチングのプリント	1月10日(水)	池邊 教	2
	1月11日(木)		2
	1月12日(金)		2
版画制作	1月16日(火)	古賀そのみ	2
リトグラフの刷り	1月17日(水)	森 信也	1
北九州版画教室	1月23日(火)	北九州版画教室	1
版画制作	1月30日(火)	古賀そのみ	2
	2月8日(木)		2
	2月22日(木)		2
	3月8日(木)		2
北九州版画教室	3月20日(火)	北九州版画教室	1

入場者数一覧

展覧会観覧者数

■特別企画展等観覧者数

展覧会名	一般			団体			招待	合計
	個人	高・大生	小・中生	一般	高・大生	小・中生		
ポーラ美術館の印象派コレクション展	39,718	3,356	2,328	12,467	423	372	18,991	77,655
横山大観展	51,382	2,645	3,130	29,480	197	294	20,908	108,036
ボンベイの輝き展	28,258	2,660	1,349	9,924	556	251	10,610	53,608
生誕100年 前川國男建築展	1,629	468	—	1,541	412	—	2,114	6,164
第41回福岡市美術展	3,528	151	—	—	—	—	3,261	6,940

■常設展年間観覧者数

個人			団体			老人等	合計
一般	高・大生	小・中生	一般	高・大生	小・中生		
15,617	1,753	10,131	24,209	1,614	—	42,255	95,579

注) 老人等とは、福岡市美術館条例に基づき観覧料の免除を受けた、市内居住の65歳以上の者および障がい者、北九州市居住の65歳以上の者。

■年度別観覧者数

年度	常設展		特別企画展		貸館展		総数	
	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)
54	94	70,234	1	86,194	18	128,642	19	285,070
55	306	127,584	3	45,666	91	467,240	94	640,490
56	307	99,287	5	35,372	139	686,602	144	821,261
57	306	93,883	3	24,453	161	563,586	164	681,922
58	307	96,723	3	137,402	183	592,022	186	826,147
59	306	105,537	3	68,172	176	721,050	179	894,759
60	305	102,115	2	116,531	171	781,973	173	1,000,619
61	306	97,962	4	147,682	184	608,150	188	853,794
62	308	96,088	3	73,478	215	609,570	218	779,136
63	306	95,550	3	77,223	207	611,398	210	784,171
1	306	94,044	2	121,795	174	437,776	176	653,615
2	306	91,584	3	64,216	216	526,516	219	682,316
3	306	88,929	4	134,771	216	491,771	220	715,471
4	307	102,301	5	103,004	235	565,751	240	771,056
5	306	81,142	3	87,242	225	565,280	228	733,664
6	248	61,022	1	23,192	147	538,275	148	622,489
7	307	68,221	3	136,406	209	500,231	212	704,858
8	305	79,077	3	65,171	206	422,735	209	566,983
9	304	63,976	4	290,151	207	464,723	211	818,850
10	306	67,859	4	62,981	189	439,040	193	569,880
11	307	58,030	4	284,403	212	451,619	216	794,052
12	305	41,584	4	106,730	204	341,378	208	489,692
13	307	49,243	4	58,028	195	290,399	199	397,670
14	304	52,912	4	75,472	203	308,245	207	436,629
15	307	57,449	4	330,467	214	351,668	218	739,584
16	306	47,998	3	437,739	207	373,377	210	859,114
17	306	80,109	4	197,258	208	296,472	212	573,839
18	306	95,579	4	245,463	193	328,743	197	669,795
累計	8,291	2,266,022	93	3,636,492	5,205	13,464,402	5,298	19,379,981

※18年度の「特別企画展」には「第41回福岡市美術展」の開催数および観覧者数は含まれておりません。

読書室利用者数

月	月総数(人)	開館日数(日)	1日平均(人)	年累計(人)	総累計(人)
4	727	26	27	727	359,020
5	591	26	22	1,318	359,611
6	515	26	19	1,833	360,126
7	669	26	25	2,502	360,795
8	1,576	27	58	4,078	362,371
9	516	26	19	4,594	362,887
10	531	26	20	5,125	363,418
11	465	26	17	5,590	363,883
12	351	23	15	5,941	364,234
1	423	23	18	6,364	364,657
2	513	24	21	6,877	365,170
3	526	27	19	7,403	365,696
年総数	7,403	306	24		

小数点以下切捨

■美術館協議会委員

(50音順・敬称略・肩書きは平成18年度のもの)

会長	錦織亮介	北九州市立大学教授
副会長	濱砂圭子	育児情報誌編集長
学校教育関係者	荒木敏男	松崎中学校長
	松永吉海	堤丘小学校長
	渡 義勝	博多工業高等学校長
社会教育関係者	片平幸子	福岡市PTA協議会副会長
	小林俊子	福岡市青少年団体連絡会議理事
	佐々木静子	福岡市社会教育委員
	藤本昌代	福岡市老人クラブ連合会理事
学識経験者	石川正知	財団法人福岡文化財団専務理事
	後小路雅弘	九州大学教授
	京谷啓徳	九州大学助教授
	後藤新治	西南学院大学教授
	古野靖弘	社団法人福岡県美術協会理事長
	松尾孝司	株式会社西日本新聞社専任職編集委員
	山田 彰	福岡市美術展運営委員
	龍 秀美	秀巧社印刷(株)外国語チームチーフディレクター

■収集審査委員

(50音順・敬称略・肩書きは平成18年度のもの)

近現代美術	乾 由明	兵庫陶芸美術館館長
	中村英樹	名古屋造形芸術大学教授
	古川智次	福岡大学教授
古美術	大橋康二	佐賀県立九州陶磁文化館館長
	河上繁樹	関西学院大学教授
	菊竹淳一	九州産業大学教授
	西岡康宏	東京国立博物館副館長
	吉田宏志	京都府立大学名誉教授

■職員

館長	西山憲司	学芸課長	尾崎直人
副館長(事業管理部長事務代理)		学芸係長	渡邊雄二
事業管理部長	伊藤史夫	主任学芸主事	柴田勝則
管理課長	谷村健治		岩永悦子
管理係長	大沢正敏	学芸員	山口洋三
管理係	月形昭徳		三谷理華
	江原加代子		山本香瑞子
	藤岡雅明		鬼本佳代子
展覧会等運営調整専任主査	稲永幸一	嘱託員	後藤 恒
			境 敏光
			ギャレット三宅万里子
			中原千代子
			中務美紀

平成18年度 福岡市美術館活動の記録

編集・発行 福岡市美術館

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

TEL: 092-714-6051

デザイン SOL DESIGN OFFICE

印刷 日の出印刷株式会社

発行年月日 2008年3月20日

© 福岡市美術館 2008年

福岡市美術館

FUKUOKA ART MUSEUM